



ECHO

Mar. 2016

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区

NO.524

<http://www.lc331-a.jp>



薬物乱用防止ポスターコンクール 最優秀賞

平和ポスターコンテスト最優秀賞

ガバナーズローガン

ウィ・サーブ・日々・是・獅子道

第3回 キャビネット会議
会長・第一副会長・ZC緊急会議

特集 リジョン特集〈3R・5R〉



連載企画 「明日のライオン像を語る」 最終回



第7回 薬物乱用防止ポスターコンクール



最優秀賞作品

札幌市PTA協議会、札幌オーロラライオンズクラブ、サッポロシニアライオンズクラブ、札幌中央ライオンズクラブは、札幌市内の中学生から覚せい剤、シンナー、大麻、MDMA（合成麻薬）など薬物乱用防止をテーマにしたポスターを2009年から募集しております。今年で7回目を迎え、著名人が薬物に手を出し危険ドラッグの乱用が大きな社会問題になるなど、子どもたちの薬物の関心が高まっております。

小・中学校で薬物乱用防止の「出前講座」も開くなどして、青少年の健全育成に努め、明日を担う子どもたちのため、薬物根絶の運動を展開しています。

- ◆共催 札幌市PTA協議会・札幌オーロラライオンズクラブ
サッポロシニアライオンズクラブ・札幌中央ライオンズクラブ
- ◆後援 ライオンズクラブ国際協会331-A地区・札幌市・札幌市教育委員会
札幌市中学校長会・北海道警察本部 生活安全部 少年課
読売新聞北海道支社
- ◆審査 北海道イラストレーターズクラブα会



〈札幌オーロラ・サッポロシニア・札幌中央ライオンズクラブ・札幌市 PTA 協議会広告〉

ライオンズクラブ国際協会 331-A地区 第5R 第1Z

芦別ライオンズクラブ

〒075-0011 芦別市北1条東1丁目1番街ビル2F TEL 0124-23-0088 FAX 0124-23-0385
<http://www11.plala.or.jp/ashibetsu-lc/> E-mail a-lc5riz@cameo.plala.or.jp

会長スローガン

「チームワークでウィサーブ!!」



会 長 小 塚 弘 昌

幹 事 東 海 林 俊 道

会 計 日 山 晋

L相河孔明	L浅井富雄	L伊藤輝雄	L伊藤良作	L石黒政司	L池田昇	L浦山和雄	L請川勝也	L大山義広	L尾矢茂
L兼好哲哉	L川村伸一	L加藤 穰	L郡奈美雄	L小林孝二	L小塚弘昌	L小室一征	L小玉 晃也	L坂井哲太郎	L斉藤勝美
L坂本恭二	L佐藤昭夫	L鈴木紀元	L定田明	L東海林俊道	L滝沢和	L高瀬敏光	L高砂晴紀	L田森良隆	L高橋勝次郎
L滝澤量久	L千葉義明	L戸邊信一	L中川栄子	L沼田哲男	L野崎光男	L橋爪忠幸	L林 守	L早坂昌文	L日山 晋
L藤元博	L藤岡慎吾	L本保 覚	L松川良一	L松田春美	L水上博樹	L水上英二	L山本 隆	L柳瀬広道	L山村英三
L吉岡隆広	L吉井 忠	L横山勝嗣							(事務局員) 山林ひとみ

〈芦別ライオンズクラブ広告〉



第3回 キャビネット会議

地区PR・ライオンズ情報委員長

「森 一男」

新入会員に感謝状とピンを贈呈



感謝状を手に新入会員が記念撮影

第3回キャビネット会議が、2月19日京王プラザホテルで65人が出席して開かれた。地区ガバナーL安部尚明が「今日は新入会員に、前回に続いて、入会を讃えるの感謝状と記念ピンを贈呈します」と挨拶、元国際理事のL杉本忠夫が「東京にある日本ライオンズ連絡事務所を財団法人にするように作業を進めています」と、中央の近況について報告した。

審議事項に入り、キャビネット会計のL松下馨から、本年度地区会計中間決算報告、キャビネット幹事のL佐藤昌洋から2016―17年度の地区ガバナー立候補者、第一、第二副地区ガバナー立候補者の件が上程され承認された。続いて、地区コーディネーター、地区委員長の活動報告があった。

GLT地区コーディネーターL月居吉彦は「昨年10月には若手・女性メンバーセミナー、1月には会員増強のためのクラブ会

長・第一副会長会議、ZC会議を緊急に開きました。4月8日には、ニューメンバーオリエンテーションを入会して3年未満の会員、メンター（指導者）の研修を含めて開きます。6月まで会員増を願います」と訴えた。

地区情報・IT委員長のL本多和司からは、オンラインについて触れ、「ライオン誌日本語事務所には、日本が開発したServann Aで会員の動向などを入力しています。国際協会には、MYLCIを使用しています。そのうちMYLCIに一本化されるかも知れません。WEB会議で協議しています」との中間報告があった。

最後に昨年9月以降に入会した39人のメンバーのうち、出席した9人に、「入会を讃えて」の感謝状とガバナーピンが、安部地区ガバナーから一人一人に贈られた。緊張した中にも、「これから社会奉仕に頑張るぞ」の意気込みが溢れていた。

9人のうち6人が懇親会



にも出席した。壇上で決意を語った。札幌創成LCのメンバーになったL塚本晴久は「神戸で裁判官をし、昨年4月から札幌に転居、社会勉強のため弁護士になりました。LCで奉仕のあるべき姿を知り、視野を広げたい」と話した。

札幌しらかばLCに入会した旅行社社長で道観光マイスターのL松本和英は「今月12日からメンバーとタイのチェンマイの孤児院を慰問に訪れました。歴史を心に刻んで来ます。ウィ・サーブの精神で、地域に奉仕したい」と

語った。

懇親会場には、第7回薬物乱用防止ポスターコンクール最優秀作品（地区ガバナー賞）も張られ、キャビネット役員から薬物の「出前講座」の会場に張りたいと引つ張りタコだった。

会員増と退会防止策

地区PR・ライオンズ情報委員長

L 森 一 男

「会員増がないと将来がない」

魅力あるアクト、感動の共有

会員増と退会防止のための緊急会議が、1月12日に会長・第一副会長、15日にゾーン・チェアパーソン（ZC）を対象に、レストラン大公で開かれた。安部尚明地区ガバナー、安江眞GMT地区コーディネーター

らから、強い要請があり、「二人でも多く増やそう」と、出席者らは、熱い思いにかられた。二つの緊急会議を集約した内容を伝える。

安部地区ガバナーは「1年間の任期の半分が終わり、後半戦にどう対



安部地区ガバナーの挨拶

応するかです。会員増は、永遠のテーマです。会長、ZCにはご苦勞を掛けています。会員増は、クラブを裕福にするためでもありません。経済不況の中で大変ですが、皆様のご支援をお願いします」と、熱弁をふるった。

佐藤昌洋キャビネット幹事は「34年ぶりに山田国際会長が誕生、数は力なりと主張しています。331-A地区の会員増の現状は、全国でも後ろの方から数えた方が良くくらいです。5月の地区年次大会までに何とか会員を増やしたい。あと5か月、力を貸してください」と、訴えた。

安江眞GMT地区コーディネーターは、73LCの増減を書いた一覧表を全員に配布、「昨年7月の会員は2770人で、12月末現在で2817人。47人の増に過ぎず、うち家族会員は515人です。会員を増やしたのは、32LCです。亡くなったメンバーもあり、人口減もあります。ZCが、期首にどのくらい会員を増やすか数字を出して

貰っています。現状を確認していますか。会員増がないと、クラブの将来がありません」と、力説した。続いて、出席したZCから報告があった。

ZCの主な発言内容は次の通り。

2R2ZのL美田法賢は「各クラブ訪問を2回して、会員増をお願いしたい。8クラブ合同のアクトもやりたい」、3R1ZのL佐藤修は「魅力あるアクトを行い、感動を共有する事も大切です。合同で小学生と向き合い、働くとはどう言う事かを語り合い、子どもらに夢を持って欲しい」と話した。

4R1ZのL松本忠彦は「月形LCは、公務員が多いので増になると思う。農業団体にも攻勢を掛けていきます」、4R2ZのL高橋宗瑛は「諮問委員会でクラブに要請します。合同で東日本大震災の支援アクトをします。バザー、コンサート、オークション、100円支援カレーなどです」、5R1ZのL林孝幸は「2月の合同例会で、ガバナーの意向を伝えたい」、5R3ZのL佐藤一美は「秩父別は、人口が千人も減っている。小さい町だから、地元

■会員動向5年間（家族会員も含む）

	期首会員数	期末会員数	入会者数	退会者数
2010-11年度	2,585	2,451	243	377
2011-12年度	2,451	2,413	240	278
2012-13年度	2,413	2,359	186	240
2013-14年度	2,359	2,616	502	245
2014-15年度	2,616	2,770	465	311
		平均	327	290

を大切にしながら、LCの魅力伝えたい」、6R1ZのL蔵口武美は「3月の諮問委員会で働き掛けた」、6R2ZのL水高博保は「青年会議所、ソロプチミスト、ロータリークラブと会員の取り合いをしています」との発言があった。

総括して月居吉彦GLT地区コーディネーターは「会員減でキャビネットの予算組みにも支障をきたしている。人数は単年でなく5年後を考えて、全員でどう取り組むか話し



合つて欲しい」との指針を述べた。
最後に松下馨キャビネット会計は

「マンネリ化が退会者を生む。クラ
ブの交流や合同例会も素晴らしい。

大いに語り合い、感動を味わおう」
と締めくくった。

「札幌バイオニアL.C.が最高の17人の増」

大きな目標を立てる。増強の2チームで働き掛け

クラブの委員長の奥
さんが入会した」

シニアL.C.「1人

が1人増で動いてい
ます。例会の雰囲気

を味わって貰い、入会を勧めていま
す。今は、3人増ですが、目標は10
人です」

赤レンガL.C.「ゲスト例会で雰囲気
を味わって貰い、楽しい例会を心
がけています。休む会員には、幹事
がフォロー、異業種交流でも声を掛
けています」

中央L.C.「来期、J.C.（青年会議
所）から2人入会の予定です」

中島L.C.「退会者は、理事会で厳
しく審議しています」

エルムL.C.「異業種の
交礼会で誘い、3人が
入った」

大通L.C.「アラ・セブ
ンティー（70代）が4人
退会した」

南L.C.「会員増強の2
チームを作り、例会に呼
んでいます。根回しを
し、入らないと承知しな
いぞと脅しの戦法です」

西L.C.「例会が楽しく

れば良い。あくまでも自然体です」

由仁L.C.「人口も減っている。隣の
人口が多い、栗山町から3人が入会
した」

芦別L.C.「会員増強委員会を立ち
上げています」

新十津川L.C.「役所の関係の人が
入った。議員にも進めたい」

沼田L.C.「若い世代に頑張つて貰
う。女性会員を増やす」

当別L.C.「春先になったら、L.C.
にふさわしい人を選ぶ」

千歳L.C.「例会でゲストとして来
て貰う」

会員減クラブからの発言です。
すすきのL.C.「会員一丸となって
取り組んでいます」

トラストレL.C.「100名例会、招
待例会をやっている。ライオンズク
ラブの啓蒙も必要だ。以前には、A
地区全体で招待例会もやった。40
60人が、入会した記憶がある」



会長・第一副会長会議で挨拶する安部地区ガバナー

会長・第一副会長会議では、安江
GMT地区コーディネーターの指示
で、プラスになった会長から報告が
あった。

73L.C.で、一番会員を増やしたの
は、2R2Zの札幌バイオニアL.C.
が17人の増。坂地俊信会長は「スポ
ンサーと新入会員の信頼関係も大切
です。時間を掛けて説明する。支部
の設立も考えています。美田Z.C.の
努力の成果です」と語る。

二けたの増は、バイオニアL.C.だけ
で、美田Z.C.に直撃した。L美田は
「入会して11年目です。最初は18人
と、人数が少なかった。クラブのPR
委員長、会計、幹事をしてライオンズ
クラブの良さが分かった。会員が少な
いとアクトも出来ない。40人か50人に
したい。今は36人です。仕事で付き
合っている人に入会を誘う時に、1人
か2人を増やしたいと言うのではな
く、私は50人にしたいと呼び掛けま
す。この戦法が功を
奏しています。友人
が、その人の友人に
も声を掛けてくれま
す」と話し、大きな
目標を立てる美田戦
術は、大いに参考に
なる。その他、プラ
スになった会長らの
発言内容は、次の通
り。

白石L.C.「9人増
の9割が家族会員。」



Z.C.会議で挨拶する佐藤キャビネット幹事

「明日のライオン像を語る」最終回

司会 森 一男 地区PR・ライオンズ情報委員長

5回にわたって連載して来た「明日のライオン像を語る」は、今回で終わります。最終回は、女性のリーダー4人に登場して頂き、しなやかな感性を生かした女性らしい奉仕活動のあり方を熱く語って貰いました。今期は、安部地区ガバナーの方針で、家族・女性チーム(FWT)が誕生、女性に光が当たった年度でもあります。(文中 敬称略)

- ㊦ 竹村 聖子 家族・女性チーム(FWT) 地区コーディネーター(千歳LC)
- ㊦ 高橋 久美子 地区薬物乱用防止委員長(札幌コスミックシニアLC)
- ㊦ 渡部 映里子 家族・女性チーム地区副コーディネーター(札幌わかばLC)
- ㊦ 設楽 幸子 ライフスキル教育プログラム説明員(札幌西LC)



リーダーの登場

人生勉強を しています

司会「いつ入会し、入会した動機をお聞かせください。入会して良かったですか」

高橋「2003年11月、サッポロシニアLCが5周年記念でエクステンションして、コスミックシニアLCが誕生、入会しました。主人が、シニアLCにいましたので、名前だけを貸すつもりでした。今まで、人生勉強をさせて頂いてい



㊦高橋 久美子 札幌コスミックシニアLC

ます。人格形成で肥やしになっています」

設楽「02年11月、会社が法人化するのをきっかけに、世間知らずなので、LCに入ってもまれて来なさいと、主人に言われました。人生の先輩が多く、いろいろな話しも聞け、大変勉強になっています」

竹村「10年前、千歳LCのメンバーに誘われて入会、大変勉強になってい



ます」

渡部「1990年の入会です。LCの説明を、軽い気持ちで聞きます」

手作りの弁当に大喜び

司会「クラブの自慢出来る奉仕活動、女性ならではのアクティビティについてお聞かせください」

高橋「メインのアクトは、児童養護施設札幌育児園との交流です。今90人ほどが生活しています。シニアLCに在籍していた元・南区長

に行ったら、はんこを押しなさいと言われ、入会が決まっちゃった」

が、育児園の事を知っており、初代、2代目の会長らが園長の意向を伺に行きました。短期でなく、継続して取り組んでください。線香花火では、嫌ですと言わ

最終回は、女性

れました。まず、入学前の園児を、円山動物園に招待しました。メンバーが手作りの弁当、おやつなどを作り、園児が美味しそうに食べ喜ばれています。小学生をシニア農園にも招待、ジングスカンを食べたり温泉に入ったりして交流を深め、年々絆が強くなって来ました。毎年秋に開かれる育児園祭も手伝っています。出店で、農園で獲れたバレイシヨ、市場の果物、チキチキボンボンなどを販売

作文でYCEの派遣を決める

司会「西LCは、白石LC、清田LCと同じく地域密着型です

ね」

設楽「そうです。地域の雪像コンテスト審査と表彰や、肢体不自由児者の海水浴を支援しています。青少年育成のために、YCEに力を入れていきます。海水浴を支援する際に、近郊の高校4校に声を掛け、ボランティア活動をしています。YCEに参加したい生徒に作文

しています。益金は、育児園に寄贈しています」

司会「料理教室も好評のようですね」

高橋「卒園したら、自分で料理も作らないとダメだ。園長の要望で、始めました。小学校の高学年、中・高校生も参加しています。包丁を持った事のない園児もいて、料理を作る喜びを味わっています。子どもの喜ぶ顔を見て、癒しを貰っています」

を書いて貰い、優秀な子をマレーシアなどに、毎年1人から5人派遣しています。帰国後は、報告会を開きます。行く前よりもさらに成長し、3、4週間の外国暮らしで、顔つきが変わり、堂々として自信もついています。メンバーも大変、喜んでいきます」

高橋「大人しい子をマレーシアに派遣、帰国後、世界を何か月も掛けて回り、たくましくグローバルな子になります。YCEの功績は大きいです」
竹村「千歳LCの自慢は、キラキラコンサートです。小中高生が演奏をします。今期で16年目を迎えて、ファンが多く、千人も来場しま

Tomorrow's The Lion

す。入場料500円でCDも販売
します。北斗中学校のリコーダー
部は、3年連続して日本一に輝きま
した。キラキラコンサートからは、

ホルンで全国的に有名な奏者が2
人誕生、千歳の音楽文化の向上に
も貢献、まさにキラキラと輝いてい
ます」

タイの孤児院に贈り物

渡部「わかばLCは、昨年3
月に10周年を迎えました。7年
前からタイの孤児院に米や文房
具、Tシャツなどを送り支援し
ています。マレーシアとの国境
にある洞窟で、裸で暮らす人
に、バナナを持って行ったりし
ています。タイには、メンバ
ーや家族、友人を含めると15、16
人が行っています。年間30万円

掛かりますが、チャリティーゴ
ルフ・コンペなどで資金を集め
ています」
司会「わかばLCさんは、浦
河で少年サッカー大会も開いて
いますね」

渡部「夕張で開いていたので
すが、人口も減り、浦河に移り
ました。サッカーの全道大会は
少なく、弱いチームでも参加出
来ます。家族も来て、車の中に
泊まったり、キャンプをしたり
しています。日刊スポーツとの
共催です。大会開催後、親たち
が古切手を持って来てくれま
す。ギブアンドテークです」

設楽「新川に桜を植樹してい
ます。春と秋には、清掃アクト
もしています。弱る木もありま
すので、新しく植え替えもして
います」

竹村「少年サッカー大会は、
千歳、北広島、恵庭、長沼など

司会「L設楽は、昨年に北海
道初のライフスキル教育プロゲ
ラムの説明員の資格を取りまし
た。教員を通して、生徒のため
のライフスキル（生きる力）教
育は大切です。活躍の場はあり
ますか」

設楽「LCの例会訪問や学校
へ行き、説明したいのですが、
まだ希望はありません」

司会「柏崎第一副地区ガバ
ナーも大いに期待していますの
で、LCを訪問、ライオンズク
エスト事業のワークショップ



L竹村 聖子 千歳LC

ライフスキルの説明員に期待

と実施しています。千歳川沿い
に桜を植樹しています。薬物教
室も開いています。土地柄自
衛隊でもやっています。千人程
の新入隊員を何回かに分けて、
実施しています。大麻の刈り取
りも警察や保健所と合同で実施
しています」

に、教諭が参加するように働き
かけてください」



L設楽 幸子 札幌西LC





クラブの垣根を越え、女性だけのアクトを

司会「女性らしい奉仕活動はいかがですか」

渡部「情報交換の場として、女性だけのセミナーを開く手もあります。B、C地区と一緒に複合全体で取り組んだらどうですか」

高橋「悩んでばかりいないで、一歩踏み出す必要がありますね」

設楽「女性だけのアクトがあれば、若い人も目を向けてくれる。楽しさが大事です。クラブの垣根を越えて取り組む必要があります」

高橋「女性ならではのアクトをやる。面白いですよ」

渡部「東京や千葉の女性メンバーは、目の不自由な人のため

に、点字を打つ奉仕をしています。子供がいない夫婦で、子どものための奉仕をしたい人が沢山います。一つ一つやって見ないと進まないし、会員増強にもつながらない」

設楽「SNSを活用する必要もあります。フェースブックを使って、クラブの活動を流す」

渡部「昨年11月に山田国際会長が、小樽に来た時の話ですが、シリア難民のために、アイスランドの女性が手編みの靴下を差し上げた。1000円ショップで買った物とは、価値が違う。女性だけしか出来ませんよね」

貧困家庭に食糧支援と学習支援

司会「貧困家庭の食糧支援も女性ならではのアクトだと思います。

旭川には、子ども食堂、岩見沢にはフードバンクがあり、子どもらに食事を与えています」

設楽「6人に1人は、貧困家庭です。1日に1食しか食べられない子もいます。札幌のNPO法人

では、学習支援を行っています、食事の提供もしています。満足ではありません。個人的には、学習支援の際にお握り一つでも支援できたら良いと思います。多感な年ごろに、愛が必要です。お

金でなく、出来る事をサポートする。学習意欲が湧き、勉強が出来るようになるれば、将来像が見えて来ます。未来への支援です」

魅力的なアクトが必要

高橋「各クラブの女性メンバーの代表が集まって貰い、1回打ち合わせをし、アクトの方

向づけをしたら良いのではないのでしょうか」

竹村「グッドです。魅力的なアクトにし、会員増にもつながります」

渡部「身近にいい人材はいま

すよ」

設楽「自分の人生で月1回でも、プラスワンになる事をする。工夫をしないと、若い人は入りません」

竹村「フェースブックを使い、内地の人とつながっている。コミュニティションが、大事です。クラブ会費も高いので、若い人を入会させるためには、安くしないとダメです」

設楽「感動、感激するアクトが必要です。」

そのために知恵を出し合います」

司会「2年後には、女性の国際

会長が初めて誕生します。331-A地区は、ZCも地区ガバナーもいません。子どもらに希望と夢を与えるためにも、女性メンバーの存在は大きいです。大いに期待しています。今日は、お忙しいところ、ありがとうございました」

Tomorrow's The Lion



司会 森 一男

ライオンズクエストワークショップ

地区PR・ライオンズ情報委員長

「森 一男」

「ライオンズクエスト事業、丁度10年」

教員約5百人参加。褒めて自尊心を高める

331-A地区のライオンズクエスト事業は、2006年度の秋庭一富地区ガバナーの時にスタートした。今期は丁度、10年の記念すべき



年を迎えた。子どもらに、「ライフスキル(生きる力)」を伝授、現代の子どもらに最も欠けている自信のなさを、やれば出来ると言う自尊心、自己肯定感を高めさせている。

年2回、クエスト事業のワークショップ(WS)、フォーアアップ・WSが開かれている。小生は、09年伊藤信賢地区ガバナーの時に、4代目の地区ライオンズクエスト委員長になった。役が解かれても、WSには毎回、顔を出している。今年1月9、10日のWSで連続14回になる。

理由は、東京の専任講師篠田康人さんの話術の魅力にはまっている事。また、我がクラブからの働き掛けで参加した教諭とのつながりを強め、WSのネットワークを構築したいとの強い思いがある。

1月9日、WSがスタートした時点で、参加者が初対面の人が多く、どこことなくぎこちない。ゲーム

をしているうちに打ち解け親しくなる。まさに篠田マジックだ。自分も東京で私立小学校の先生をしてい

る。篠田さんは、冒頭の挨拶で、「ライフスキルの風を送ります。気持ち良い風だけを受けてください」と、語り掛ける。「いつも前向きで優しい。友達が多い。あなたと居られて良かったと言われる人になりました」と、付け加えた。言うは易しで、なかなか難しい。

そのコツは、「いいところを褒め、子どもの心を動かす。行動が、変容します。やれば出来る。自尊心、自己肯定感が、高まります。下校後、家で庭掃除を手伝うかも知れません。物の見方、考え方をプラス思考にする事です」。

WS2日目の10日は、模擬授業が中心で、5、6人のグループに分かれてクエストの授業に取り組む。皆が意見を活発に語る。全員参加型で、これなら落ちこぼれも出ないし、イジメも起きない。WSに参加



する度に意を強くする。以前の教育方法と違い、一方的に教えるのではなく、考えさせる事が必要なのだ。

今回のWSでは、マニラの日本人学校の元校長平野覚さん、寿都の助産師目時みちよさんも受講し

た。10年の歴史では、初めての異色の参加者だ。目時さんは、ライオンズクラブのHPを見て申し込んだ。これも初のケースだ。SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)を上手く活用する事も参加者の増に結び付く。

昨年7月には、全国で2番目の「北海道ライフスキル研究会」が結成された。WSの受講者が、研修会を開き、教育者として腕を磨く。ライオンズクエストの説明員も誕生した。この10年間で597人が受講、うち教員は495人にのぼる。未来を担う子どもらを育てるため、世界最大の奉仕団体が力を貸そう。



異色の参加者の感想。新たな広がり

「人と協調する参加型活動」

元マニラ日本人学校 校長 平野 覚

ライオンズクラブエラスト事業の「ライフスキル教育」など聞き慣れない名前の研修会に誘われた時、私は、必要なものと感ずる事が出来ずに躊躇した。ただ、説明の中に、「人とうまく関わる事について」という一言が、私の心を捉え参加した。学校の経営に当たっていた時、授業の改善は進んでいるが、学力に思ったほど反映していないと感じていた。子供同士の関係に、変化が起きてるのが原因かと思っていた。

参加初日、講師の篠田康人先生は、



LQの感想文を書いて貰った平野さん (中央)

エネジャイザーという活動で、初対面受講者19人の集中力と絆を一気に高め、深めた。その時、指導のスキル(力)が必要だと身をもって感じた。

ライオンズクラブエラストが目指すものは、「困難を上手に乗り越える力」であると提案された。現在が「伝統的な支援ネットワークの不在の世界」であると捉えていた。支援のない中で困難を乗り越えるためには、子供はスキルを身につけることが必要であり、それを支援するのが学校では教師であると示していた。

2日目の授業案作りでは、具体的な計画・内容を基にはじめなどを解消して、人と協調するスキルを子供達の参加型活動をベースに組み立てることができた。今までの学級経営で、必要と思っていながら出来ていなかったものを発見した気持ちであった。この魅力的で効果が望める指導法が、広まっていけないのが残念である。直ぐにでも、北海道で講師の養成が、必要であると痛切に感じた。

「子供達の心の花を咲かせる」

寿都診療所 助産師 目時 みちよ



私は、人口3千人の小さな町で、日頃は看護師として、町民の健康

のお手伝いをさせて頂いています。診療所は「家庭医療科」で、病気の方だけでなく、病気になる予防医学、地域のコミュニティーを大切にしています。

今は、自分の知識を活かして、中高生への思春期教育や性教育の講話をしています。授業を進める中で、「子供達たちの将来に役に立つのだろうか」との疑問を抱いていました。

様々な悩みを持つ思春期の子供たちに、自分の生まれてきた意味

や多くの人に支えられながら生きていく事に気づいてもらえる「ライフスキル」を取り入れた授業をしたいと思います。定期的にホームページで、ワークショップの開催をチェックさせて頂き、今回ようやく受講出来ました。

率直な感想は、「やっぱりライフスキル教育は素晴らしい。直ぐに自分の子育てに取り入れたい」と、思いました。篠田先生の話しに、惹きつけられ、楽しくあつという間に二日間が過ぎました。

篠田先生のお話しを聞いて、私の講話は一方的に知識を提供する事が多かった反省点があります。子供達と一緒に考え、得た情報をどう活かしていくか、気づく事が出来るような内容にしたいと思っています。

「自分を大切にすると同じように、相手も大切にすると、生まれてきてよかった」と思えるような、「子供達の心の花」を、咲かせて行ける存在になれるよう精進したいと思います。

ガバナー賞に田中さん、山谷さん

地区平和ポスターコンテスト委員長
薬物乱用防止ポスターコンクール実行委員長

水野新太郎
南一雅

色の配分、構図も良く、メッセージ性がある

ライオンズ国際平和ポスターコンテストと第7回薬物乱用防止ポスターコンクールの合同授賞式が1月30日、全日空ホテルで開かれた。平和は、立命館慶祥中1年田中碧夏さん、薬物は札幌北中3年山谷芽衣さんが、最優秀賞に輝き、安部尚明地区ガバナーから、「ガバナー賞」が贈られた。

「平和」は、キャビネットの主催で、本格的に取り組んだのは、2012年度の渡辺修地区ガバナー。今回は100点の応募があり前回の20点の5倍。

「薬物」は、札幌市PTA協議会、札幌オーロラLC、サツポロシニアLC、札幌中央LCの共催。市内の中学生から募集、今回は151点の応募があった。前年の半分になったが、質が高く学校数は2校減っただけで20校が参加した。

授賞式には、市保健福祉局、市教委、道警本部、読売新聞社の幹部、キャビネット役員も出席した。安部地区ガバナーは「リアルで創造力豊かな作品ばかりです。明るい社会づくりに貢献してください」と、挨拶し

た。道警本部少年課の安沢さとみ課長補佐が、薬物についてパワーポイントを使いながら講話した。次に表彰式に移り、最優秀賞、優秀賞、入選（平和8点、薬物20点）、佳作（薬物のみ50点）に表彰状と記念品が贈られた。北海道イラストレーターズクラブα会の佐藤正人名誉会長が「年々レベルアップしており、色の配分、構図などまとまった力作が多い。ほかの人の作品を見る事も勉強になり、感性を磨いて下さい。保護者の皆様、子どもさんの作品を褒めてください。子どもは嬉しい。私も入賞した時に褒められ、プロになりました」と強調した。

最後に記念写真を撮影した。家族も150人以上が参加、わが子、我が孫の晴れ姿を見て、作品の前で写真を撮っていた。

トに伝わる作品にしました。まさか最優秀賞に選ばれるとは思いませんでした。高校生になっても描き、プロを目指します」と、喜びを語った。山谷さんの作品は、ポスターになり、300枚が市内の中学校やスキノのビルなどに張られる。

最優秀賞の山谷さんは「顔半分しか描かず、シンプルでストレー

田中さんは「美術部の部活で週4回描いています。最優秀賞に選ばれ、嬉しいです」と、笑みを浮かべ話していた。作品の展示会は、3月5、6日に地下歩行空間で開催された。

優秀賞は次の通り。

平和ポスター
立命館慶祥中 遠藤あき、札幌緑小 木村紘知郎
薬物ポスター
西岡北中 戸松希、楠梨絵、手稲中 中塚基也、柏丘中 橋本桃、小長谷花衣、仙田恵実、八軒中 川勝遥、札幌北中 高橋波音璃



安部地区ガバナーの挨拶

授賞式には、市保健福祉局、市教委、道警本部、読売新聞社の幹部、キャビネット役員も出席した。安部地区ガバナーは「リアルで創造力豊かな作品ばかりです。明るい社会づくりに貢献してください」と、挨拶し

た。道警本部少年課の安沢さとみ課長補佐が、薬物についてパワーポイントを使いながら講話した。次に表彰式に移り、最優秀賞、優秀賞、入選（平和8点、薬物20点）、佳作（薬物のみ50点）に表彰状と記念品が贈られた。北海道イラストレーターズクラブα会の佐藤正人名誉会長が「年々レベルアップしており、色の配分、構図などまとまった力作が多い。ほかの人の作品を見る事も勉強になり、感性を磨いて下さい。保護者の皆様、子どもさんの作品を褒めてください。子どもは嬉しい。私も入賞した時に褒められ、プロになりました」と強調した。

最後に記念写真を撮影した。家族も150人以上が参加、わが子、我が孫の晴れ姿を見て、作品の前で写真を撮っていた。



「薬物」の受賞者の記念撮影



「平和」受賞者の記念撮影



合同授賞式



作品の前で記念撮影



薬物乱用防止ポスター
山谷さんが最優秀賞

札幌市内の中学生から募集した第7回薬物乱用防止ポスターコンクール、札幌中央審査会が開かれ、最優秀賞に市立札幌北中3年、山田芽衣さんの作品が選ばれた。

コンクールは、札幌市P集した第7回薬物乱用防止ポスターコンクール、札幌中央審査会が開かれ、最優秀賞に市立札幌北中3年、山田芽衣さんの作品が選ばれた。

最優秀賞に選ばれた山谷さんの作品

2015年12月15日付け
読売新聞掲載記事
記事・写真：森 一男

北海道支社長賞(優秀賞)には、市立西岡北中2年、楠梨絵さんの作品が選ばれた。授賞式は1月30日、全日空ホテルで行われ、3月5、6日には、全作品の展覧会が、札幌駅前通地下歩行空間で開かれる。



オーロラLCの酒井会長の挨拶



道警本部少年課の講話

在札LC合同アクト

地区献眼・献血委員長

橋詰 晴美

「さっぽろ雪まつりで献血呼びかけ」

2月5日(金)～11日(木)の7日間
「さっぽろ雪まつり会場」大通5丁目

にて331-A地区38LC
のクラブメンバーのご協力を



さっぽろ雪まつりの献血に参加した札幌創成、シニア、コスミックシニアLCのメンバーら

を頂き真冬の寒い中、献血の呼びかけを無事終了する事が出来ました事を厚くお礼申しあげます有難うございました。

各クラブ1時間、1日5時間の呼びかけとはいえ冬は献血者が年々少なくなってきたと聞いております。そして元気で健康な若い人達の献血も少なく、何かいい策はないものかと思わざるには居られません。参加しているメンバーの方々は熱い気持ちで、呼びかけを致しております。



さっぽろ雪まつりで献血を呼び掛ける安江GMTコーディネーターら

ますが、今いち来場者の方々にはこの思いが届きにくかったのではと考えさせられたり、反省させられた今回の呼びかけになりました。

期間中の献血実績表が日赤様より届きましたので掲載させていただきます。

各クラブの方々お忙しい中の呼びかけ本当にありがとうございます。ありがとうございました。

平成28年 雪まつり献血実績

献血実施日	受付数	中止	献血協力数				400比率
			200mL	400mL	献血量(リットル)	計	
平成28年2月 5日(金)	90	23	2	65	26.4	67	97.0%
平成28年2月 6日(土)	157	34	4	119	48.4	123	96.7%
平成28年2月 7日(日)	179	44	4	131	53.2	135	97.0%
平成28年2月 8日(月)	102	25		77	30.8	77	100.0%
平成28年2月 9日(火)	111	28		83	33.2	83	100.0%
平成28年2月10日(水)	100	14	5	81	33.4	86	94.2%
平成28年2月11日(木)	185	44	10	131	54.4	141	92.9%
合 計	924	212	25	687	279.8	712	96.5%

献血推進一部献血課



信頼と技術で明日を創る

北英電工株式会社

代表取締役 **内田 忠吉**

電気設備設計施工管理

〒061-1279

北広島市大曲並木3丁目12番地1

TEL(代) 011-376-4310 FAX 011-376-4312

〈札幌清田ライオンズクラブ広告〉



株式会社 **真栄造園**

代表取締役 **池田 智仁**

〒004-0839 札幌市清田区真栄487番地
TEL 011-881-3475 FAX 011-881-3561

〈札幌清田ライオンズクラブ広告〉

北海道公安委員会認定証番号(第10000427号)
北海道警備業協会加盟員



代表取締役会長 **鈴木 憲一**

〒004-0877

札幌市清田区平岡7条3丁目8-22

TEL 011-885-4141 FAX 011-885-6255

〈札幌清田ライオンズクラブ広告〉



エネルギーをトータルで快適に

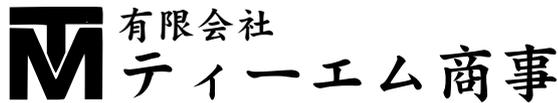
SHINWA

株式会社 **シンワ商会**

代表取締役 **荒井 喜和**

本社 / 札幌市清田区平岡1条1丁目7-20
TEL 011-881-3939 FAX 011-881-3890
出光興産株式会社特約販売店・富士火災海上保険(株)代理店
E-mail: shinwa1@seagreen.ocn.ne.jp

〈札幌清田ライオンズクラブ広告〉



有限会社

ティーエム商事

代表取締役 **宮下 敬敏**

〒004-0831

札幌市清田区真栄1条1丁目16-22

TEL・FAX 011-881-3008

〈札幌清田ライオンズクラブ広告〉

LIBRO CORP.

代表取締役 **本多 和司**

リブロ 株式会社

〒004-0841 札幌市清田区清田1条3丁目7-55 リブロビル1F
TEL 011-881-5231 FAX 011-881-9846
E-mail: k-honda@libro-kk.co.jp

〈札幌清田ライオンズクラブ広告〉

不動産賃貸業

株式会社イシダ

代表取締役 **石田 幸雄**

〒004-0834

札幌市清田区真栄4条2丁目1番28号

TEL 011-881-0838

〈札幌清田ライオンズクラブ広告〉

佐藤亮司税理士事務所

税理士 **佐藤 亮司**

〒060-0063

札幌市中央区南3条西12丁目320番地20 札幌森ビル3 7F

TEL・FAX 011-222-3212 E-mail: ica09687@nifty.com

〈札幌清田ライオンズクラブ広告〉

3R1Z

札幌ポプラライオンズクラブ

「老舗クラブの伝統に新たなACTが融合」

PR委員長

小島 恭平

札幌ポプラL.C、今年52周年を迎えた老舗クラブです。

ACTも数知れず盛んに行われている中から老舗クラブならではの

の、ほんの一部を紹介させていただきます。

直近では合同ACTも行っています。

この度『みんなで見つけよう！仕事探検教室(写真)』が行われました。



札幌トラストL.Cの堂畑会長が『高校生の7割が自分がダメな人間だと思っている』という記事を読み世界は広いので職業教育をもっと広い視野をもっともらいたいということ、せっかくなら一つよりもゾーン全体で盛り上げACTを活性化していこうという趣旨ではじまりました。

札幌市立真栄小学校で6年生66名を対象に

5・6校時に体育館で開催、パネルディスカッションやグループセッションを行い、児童と直接触れ合うことを大切にコミュニケーションを図っています。

また札幌ポプラL.Cの伝統行事の一つでもある少年サッカー大会。夕張平和公園に於いて2日間で開催。まだレギュラーではない選手達に試合を経験してもらおうという意義ではじまり、選手や選手の家族とお祭りムードで楽しまれ今年で第32回目という歴史を積み重ねてい



ます。

東洋東南アジアに対する奨学金制度も今期で28期となり前期後期と毎年2度の基金を行っています。

札幌ポプラL.Cでは、このような伝統的なもの他、次々と新たなACTも開催され活動が盛んなクラブであると同時に歴史があるので若手の代表として数々の伝統を受け継ぎ活性化に貢献していきたいです。





3R1Z

札幌リバティライオンズクラブ

「ありがとう35年夢への軌跡・明日への鼓動 感謝をこめてウィ・サーブ」

PR・情報委員長

三浦昌直

札幌リバティL.Cは、今期結成35周年を迎え各種行事も滞りなく執り行いました。

これも皆様のご支援あって成しえた事と感謝いたします。今期は干場会長のもと「ありがとう35年夢への軌跡・明日への鼓動 感謝をこめてウィ・サーブ」をスローガンに例年以上に積極的なアクティビティを実施して参りました。

結成以来のクラブ理念でもある『青年の健全育成』今年度も札幌市内



3校で薬物乱用防止教室を展開いたしました。学校関係者と打ち合わせを重ね従来の一方的に説明する形から飛躍して『小グループに分かれて薬物の断り方を実演する』『ワークシヨップ方式を取り入れ児童一人ひとりに話しかけることにより、より一層薬物の恐ろしさ等を実感してもらうこと]に力を注いでいます。

また今年度は35周年記念ACTとして『女子スキージャンプ支援』を行い、チャリティ交流会を開催。最近では女子のスキージャンプも認知度が上がってまいりましたが、ワールドカップで活躍する一部の選手を除くと、まだまだ遠征費用や大会の登録料に苦慮するという話を聞き少しでもお役に立てるならと企画立案しました。当日はたくさんの方々が訪れ、また懇親会の席で選手から寄せられた品でチャリティオークションも開催し、収益金とともに全額寄贈いたしました。もうひとつの記念AC

Tとして当クラブが結成当初より支援しております、マーチングバンド『アクシス』の育成支援。今年度は、当クラブの35周年記念祝賀会等にも出演いただき花を添えていただきましたことも付け加えておきます。

従来からの取り組みも精力的に行っております。当クラブのライオンは、献血呼び掛けACTの意識が高く常に多くのライオンが参加し、また積極的に呼びかけを行うことにより、多くの方々へ献血への意識付けをしていると確信しております。

現在クラブでは、以前にも増して若い世代と諸先輩方が積極的に交流を図っております。特徴として若い世代が非常に多くなってきており当クラブでは会員の約半数が若い世代となっております。

伝統を守り、そして更に拡大していく為にはベテランライオンと入会の浅いライオンとが一緒になって行動していく必要性があります。委員

会活動、例会、アクティビティなどそれぞれで手を取り合つて、ある時は熱い討議を交わす事により健全なクラブ維持に繋がるはずです。
今後とも相互理解を深め社会奉仕等を積極的に行つてまいりたいと考えますので、皆様のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

電気設備工事 ケーブルテレビ工事
計装工事 情報通信工事 LAN工事

 株式会社 **丸電 三浦電機**
代表取締役 三浦 義 男

〒007-0874 札幌市東区伏古 14条3丁目11番地
電話(011)782-1910 FAX(011)783-3225
<http://www.marudenmiura.com>

〈札幌リバティライオンズクラブ広告〉

3R1Z

札幌スノーピアライオンズクラブ

「多彩なアクティビティで親睦を深める」

PR委員長

榊原 英俊

私達のクラブは数多くのアクティビティがございます。私達の特色あるアクティビティをご紹介します。

●交通安全アクティビティ

7月13～15日

自転車事故防止のため厚別警察署の協力で自転車の安全走行の啓発活動を行っています。主に小学生を対象に自転車シミュレーターを使い安全走行、走行マナーなどを学んでいただいております。今年度は



上野幌西小学校にて3年生を対象に行いました。ゲーム感覚で交通安全を学べる自転車シミュレーターは大人気でした。

●スノーピアLC杯少年野球大会

8月8日、9日

毎年厚別区もみじ台にて開催しております。もみじ台地区は少子化が進む地域であることを踏まえ、青少年の健全育成を願い開催しています。今年度は厚別区、白石区、江別市、長沼町より8チームが参加いたしました。優勝はもみじ台ベアーズ

でした。閉会式の後には恒例の焼肉パーティを行い、選手達やチーム指導者の方々と親睦を深めました。

●植樹・植林アクティビティ

10月10日

オイスカ北海道との共催で千歳市烏柵舞の森にて植林事業を行っております。今年度は小学生、中学生含め85名でアカエゾマツを750本ほど植林しました。この事業は今年で18回目となりましたが、植林本数は累計で10,000本以上に



なったものと思われませう。



●羊ヶ丘養護園の子供達とのクリスマス例会

12月3日

毎年12月の第一例会に羊ヶ丘養護園の子供達を招待して開催しております。今年度は、子供たちから「将来の夢」の発表があり、その意気込みに感動いたしました。その後、ビンゴゲームでは大いに盛り上がり、たくさんの景品をプレゼントしました。今年も子供達から勇気と元気をもたらしました。



3R1Z

札幌東ライオンズクラブ

初の「救急救命講習 アクティビティ」を実施!!

PR委員長

山谷直樹



札幌東ライオンズクラブは、薬物乱用防止教室の開催と、献血の呼びかけ、茨戸川緑地の植樹、公園清掃を継続アクティビティとして毎年実施しておりますが、今期は新たなアクティビティとして、緊急時の備えに地域に貢献できる最低限の応急処置技能を習得しようと泉亭会長から提案があり、満場一致で決定しました。

11月4日(水)、例会でもお世話になっている「プレミアホテル「SUBAKI」札幌」の会場をお借りして、平日の昼間にもかかわらず18名のライオンが参加しました。

当日は札幌市防災協会に講習をお願いし、3名の講師に来ていただきました。

前半はとっさの時のための「応急手当の基礎知識」や傷病者の「止血法」の講義を聞いた後、後半は6人1グループに分かれて人形を使った心肺蘇生法やAEDの救命処置をしました。

ひとり一人が実際に使用しましたので、見るだけでは分からない貴重な体験でした。

一番驚いたのはAEDは異常な拍動を繰り返し、ポンプとしての役割を果たしていない状態の心臓を、電気ショックによって一時静止させることにより正常な拍動の再開を促すもので、TVや映画で見るような静止し

た心臓を電気ショックで再起動させるものではないということが分かりました。

したがってAED使用後は速やかに人工呼吸と心臓マッサージを再開することが必要ということでした。

3時間という長丁場でしたが、全員真剣に取り組み、あつという間の講習でした。

最後は普通救命講習修了証をいただき講習は終わりましたが、学んだことを忘れないよう定期的に開催していきたいと思います。



ライオンズクラブ国際協会
331-A地区第3R第1Z

札幌東ライオンズクラブ

会長スローガン 「人の笑顔が、自分の笑顔に」

会長 L 泉亭 実 幹事 L 中山 正人
会計 L 松原 智明 PR委員長 L 山谷 直樹

札幌市中央区南4条東4丁目2-1 さくら総合会計ビル内 TEL:011-222-2209 FAX:011-222-2219
sapporohigashi@dao.or.jp URL:http://www.e-clubhouse.org/sites/sapporohigashi/

〈札幌東ライオンズクラブ広告〉

3 R 1 Z

札幌トラストライオンズクラブ

「キッズ空手道選手権大会開催」

PR委員長

L 仙庭 真司

10月25日、当クラブ主催(実行委員長・L酒井晋)の「第5回キッズ空手道選手権大会」が札幌市新発寒地区センター体育室において、極真会館の協力のもと開催されました。この大会には、柏崎第1副地区ガバナー、佐藤キャビネット幹事、佐藤ゾーリン・チェアパーソン(3R1Z)Lも



来賓として駆けつけてくださいました。

ところで、この企画ですが、小学生が対象で「礼に始まって礼に終わる」日本古来の武道精神を重視しつつ、日ごろの練習の成果を存分に発揮していただくというもの。年々好評につき参加者も増え今年も全道大会として約120名のチビッコがエントリーされました。

参加されたチビッコ選手は皆一

様に真剣そのもので、応援するご両親も思わず力が入ります。例年と比べチビッコの技術的な成長振りを感ずることができ、それだけ接戦・激戦が相次ぎました。

やがて予定のとおり全試合を終え表彰式と閉会式が執り行われましたが、戦い終わったチビッコ達はどの顔もすがすがしいものでした。当クラブ会員はチビッコの頑張る姿に感動し青少年の健全育成に少しでも役立てたことを安堵した一日となりました。



札幌トラストライオンズクラブ

会長 スローガン

『時の風をつかめ 響き合う 明日への We Serve』

会長 堂畑 時雄 幹事 岡本 洋人 会計 山内 睦夫

L 堂畑 時雄	L 出羽 吉博	L 晴山 徳貴	L 橋本 洋彰	L 池田 謙一	L 今村 尚司	L 井本 洋一
L 京野 信博	L 宮崎 幸一	L 水木 弘輝	L 能澤 正明	L 中村 登	L 野澤 強	L 成田 靖大
L 岡本 洋人	L 杉澤 慎彦	L 斎藤 達也	L 桜井 貴史	L 柴山 ひろこ	L 酒井 晋	L 仙庭 真司
L 竹内 武司	L 米山 昭	L 山田 裕之	L 山内 睦夫			

事務局：札幌市中央区南3条西3丁目アルファ南3条ビル4階 TEL(011)211-6156 FAX(011)211-6157 事務局員：片桐 澄江
Eメール：s-trust@muse.ocn.ne.jp http://e-clubhouse.org/sites/sapporotrust

〈札幌トラストライオンズクラブ広告〉



3 R 2 Z

札幌ライラックライオンズクラブ

市民に認知されるライオンズクラブを目指して

PR 委員長

L 面 康夫



めている「会員満足度アンケート」をクラブ独自のものに手直しをし、「理想のクラブの在るべき姿とは何か」のコンセプトの下、現在優先順位をつけて改革を推し進めている処であり、アクティビティも従来の有形から無形のアクティビティに姿を変え、次代に向けたクラブとは何か、また時代に即したアクティビティとは何かを模索している処です。

今期し市川俊明会長スローガン「繋げよう 続けよう 未来への創造」の下、クラブは二月にクラブCN五十一周年式典を迎える事が出来ました。当クラブは三年前から、国際協会が進

クラブ創設以来、数多くのアクティビティの中でも、特に青少年育成に力点の実践遂行を心掛けており、児童養護施設入居者を対象とした「青空フェスタバル ミニ運動会」、母子寡婦施設入居者の母子と職員をお招きしての「クリスマス家族会」、そして今年も感性豊かな少年少女に更なる夢と希望をとのコンセプトの下、結成四十五周年からの継続事業のライラックチャリティ「MUSIC LA MP vol.1.7」を、公益財団法人札幌市芸術文化財団と共催して市民を

巻き込んだチャリティライブを今年は二月二十八日(日)に札幌市教育文化会館大ホールにおいて、札幌ジュニア・ジャズ・スクールの発表演奏と笹島明夫カルテットによる演奏を行いました。毎年この基金は私どものクラブを通して公益財団法人北海道盲導犬協会と視覚不自由者に対する支援の為の寄付を目的として行われております。

この財団法人札幌市芸術文化財団は国際的にも前例のないジャズをテーマとした小・中学生のためのジャズ



ズスクールとして二千年に開講。これまでに日本国内はもとより、オーストラリアのオペラハウス、カナダモントリオール・ジャズフェスティバルなど海外での演奏を行なつて来ており、年間演奏活動は五十回を超えるものとなっており、国内他都市で演奏しての交流クリニクや社会福祉演奏会の開催などジャズ音楽を通じた地域交流、福祉活動にも精力的に取り組んでいる団体で、クラブとして年少の頃から奉仕の喜びを培うお手伝いをさせて頂いております。

ライオンズクラブは兎角、閉鎖的な団体と見られがちですが当クラブでは、市民に親しまれ愛されるクラブを目指し今後も実のある奉仕活動に邁進して行きたいと思っております。

3R2Z

札幌はまなすライオンズクラブ

第35回札幌はまなすライオンズクラブ杯 全国少年ジャンプ大会開催

PR情報委員長

水野 眞佐夫

平成27年9月6日(日) 快晴に恵まれた天候のもと、節目となる第35回の大会が荒井山ジャンプで開催されました。全道各地から7

つのジャンプスポーツ少年団の幼稚園年中組から中学3年生迄50余名の選手が参加しました。午前9時開会式が始まり、来賓として第

少年団父母会長松本高幸氏の謝辞でも同様の要請がありました。当クラブメンバー全員これらの願いを聞き、来年以降も更に継続アクトイビティとして実施しようとの心で誓った次第です。

クラブ国際協会ライオン誌日本語事務所より2名の記者が取材に訪れ、ライオン誌11月号に写真入りで2頁に亘り報道されました。この取材に対し心よりお礼申しあげ、今後益々ライオンズ活動に精進する覚悟です。



1副地区ガバナー 柏崎昭朗
ライオンの力強いメッセージをいただき早速午前9時30分より競技開始、普段の練習の成果を発揮して選手全員が豪快に思い切りジャンプをしていました。
今回の大会で特筆すべき点は幹事山崎晴生氏の知人である(株)トーワ代表取締役会長山本慎一様から多大なご支援があつて開催されたことです。
閉会式では選手代表松本祐衣さんがこの大会が開催されたことへのお礼とこれからもう一つと長く続けて欲しいという要望が話され、また、札幌ジャンプスポー



この大会の様子は北海道新聞(9月7日 朝刊)紙上に大きく報道されました。2026年冬季五輪の札幌招致に向けて「豆ジャンパー」がアーチを描いていたという内容でした。また、ライオンズ

株式会社アトラン

取締役社長 **山崎 晴生**
〒007-0844 札幌市東区北44条東1丁目
TEL 011-721-1395 FAX 011-704-1919

松村印刷 株式会社

代表取締役 **松村 芳明**
〒001-0032 札幌市北区北32条西5丁目23
TEL 011-736-3378 FAX 011-736-3379

〈札幌はまなすライオンズクラブ広告〉



3R2Z

札幌西ライオンズクラブ

「継続アクティビティと新たななる挑戦」

PR委員長

L工藤 充睦



昨年度、札幌西ライオンズクラブでは20周年の節目を終え今期は新たな「1年」の始まりでもありました。

21期の会長L中村純一のスローガンは《戻るう！原点へ》当時、忙しい中集まってボランティアを考える仲間がとて今も充実していたことを今のメンバーにも当時の仲間にも再認識して欲しい気持ちからスローガンが生まれました。平成27年12月、当クラブでは恒例となつております体の不自由な子供達と楽しいクリスマス会を父母の会の皆様と、共に参加させて頂いております。会長みずからサン

タクロースのコスチュームも西ライオンズクラブでは恒例の行事。19家族のご参加に新川高校吹奏楽部の26名のメンバーも日曜に関わらずクリスマスソングを披露していただきました。

ゴスペルサークルの15名の素晴らしい歌声には全員が参加し一緒に踊ったり手をたたいたりご家族、ヘルパーさんとともに楽しく



過ごす様子をみますと、私たちが有意義に感じる事ができました。

又、西ライオンズクラブでは更なるアクティビティの取り組みをするために「貧困による学びの格差問題」についても真剣に議論中であります。限られた行動の中で、私たちに何が出来るかを熱く討論しており、例会、理事会ともに充実したクラブ活動を行っております。間もなくこちらの活動も報告ができる事でしょう。

We serve

我々は奉仕する。本当に私たちの行動が人の為に役立っているのかを良く吟味し、ライオンズクラブに参加していることを誇りに思えるように参加していきたいと思ひます。

3R2Z

札幌新星ライオンズクラブ

青少年育成アクティビティ

PR委員長

原 孝男

第21回少年少女交通安全啓発活動

2015年7月18日(土)

7時15分より

一般道道東雁来江別線

各チーム野球選手・監督・コーチ

の皆さん
総勢250名以上
で、朝の
国道で両
方の歩道
に並び、
交通安全
の旗を振
り、通っ
て来る車



へ小学生の生徒たちは、手を振りながら、交通安全を呼びかけました。

第21回少年少女軟式野球大会

2015年7月18日(土)

8時15分より

白石区米こめ広場球場・東川下公園、球場

8チー

ム178

名の選手

が、二つ

の球場に

わかれて

試合を行

い、優勝

を決める

熱戦が繰

り広げら



れ、北白石ワイルドナインが優勝を決め、優勝旗・賞状と選手の皆さんの健闘を讃えて首に金のメダルを掛けられ、準優勝・3位・参加チーム全選手にメダルを授与しました。

チャリティーゴルフ大会

2015年9月17日(木) 9時より

会場 札幌ベイCC

29組105名の参加を頂き、女子スキージャンプの知名度は低く、遠征費・活動費の補助金が少なく

チャリティーゴルフ大会で、出ました益金を、女子スキージャンプの選手の皆様へ遠征費・活動費として寄付させていただきました。

W杯女子スキージャンプ札幌大会
小学生観戦ガイドツアー

2016年1月16日(土)

宮の森ジャンプ競技場で、手稲宮丘小学校他31名の生徒・保護者の方と、冬のスポーツに興味を持つきっかけにと、女子スキージャンプの魅力を間近で見え頂き、すごい迫力でした。憧れの高梨沙羅さんが優勝し、高梨沙羅さんと一緒に集合写真も撮り思い出に残る一日でした。

第11回少年少女柔道大会

2016年2月28日(日)

会場 北海道総合体育センター武道館9

時30分開会式10時より試合開始

29チーム175名の選手が、チー



ム優勝に向けて熱戦が繰り広げられ、日頃の練習成果が出るよう、保護者皆さん大きな声援を送っていました。大きな怪我もなく白熱した試合の中、無事に終了しました。大会の準備・設営から後片付けまで労力奉仕も自慢です。

吉田学園 献血促進アクティビティ

毎年、春は5月〜6月、秋は11月に、8校の専門学校へ赤十字社より献血移動車による、献血促進アクティビティを行い、札幌新星LCとして献血して頂いております学生の皆さんへ粗品をお贈りさせていただいております。



5 R 1 Z

滝川ライオンズクラブ

子供達が気付かせてくれたこと

青少年育成委員会委員長

田家 弘晶



今期も当クラブ青少年育成委員会では、地域の未来を担う青少年の健全育成のために小林会長の下、一致団結し活動が続けております。昨年8月は最初の担当アクティビティである「中空知中学校野球秋季大会」を開催し、決勝戦は天候にも恵まれ手に汗握る緊迫した延長戦となり、どちらのチームも優勝でよい位の素晴らしい試合を見せてくれました。続いて10月に開催しました「空知少年柔道大会」では年々参加選手が減る中、無事開催の運びとなりました。内容については小学生低学年の試合では観戦し



ていると微笑ましく思えてしまいますが、中学生高学年の試合となりますと大人顔負けの迫力ある試合内容でした。

そして青少年育成委員会の主要アクティビティである「薬物乱用防止教室」も10月からスタートし、現時点で予定している6校のうち5校まで無事終了しました。これまで様々なアクティビティを通じて多くの子供達と接して来ま



ましたが、仲間と共に協力し合い助け合いながら同じ目標に向かい直向きに努力を続ける姿勢や残念ながら期待していた結果を出せず思わず涙する姿や逆に仲間と手を取り合い喜び合う姿、表彰式での誇らしげな顔や私達の話を真剣な眼差しで聞いている時の顔など：本当に色々な表情を見せてくれます。そんな子供達とふれあう事によって我々クラブメンバーは「獅子道」の意識をより高いものへと変えることが出来そうです。

5 R 1 Z

芦別ライオンズクラブ

「会員一団となって青少年健全育成事業を推進」

PR委員長

小室 一征



げ全会員で一団となって活動を進めています。

クラブの主要な活動の一つに青少年健全育成事業があります。今年で32回目となる「青少年健全育成資金造成パーティー」を10月に開催し、芦別市民の方々に広くライオンズクラブの活動を紹介するとともにパーティーの益金を元に、青少年健全育成事業を開催しております。



されました。冬のスポーツであるスキーを通じて子供達の健全な成長に寄与出来るものと思えます。

次に、今年度で3回目となる、「芦別ライオンズクラブ(杯)青少年剣道大会」を紹介いたします。

はじめに、今年度で29回目となる、「全市ジュニアスラローム大会」を紹介します。芦別の幼稚園児から小学生までの児童を対象に、学年別、男女別にスラロームの競技を行います。芦別スキー連盟の協力を得て、国設芦別スキー場にて昨年は、67名の児童の参加により開催

芦別市とその近郊より、小学生から、中学生までの選手が団体戦、個人戦で試合を行います。今年度は2月7日に芦別市総合体育館で開催され、56名の選手が参加されました。運営には、芦別剣道連盟の協力をいただいております。

最後に、今年度6回目の開催となる「ダメ・ゼツタイ薬物乱用防止教室」を紹介します。対象は芦



別小学校の6年生で11月に行われました。講師には、薬物乱用防止教育認定講師養成講座を受講した、青少年指導委員長小室一征が担当しました。青少年の健全な成長に違法薬物などの被害には、ダメ・ゼツタイにあつてはならないと強く願っております。

以上、青少年健全育成事業について紹介しました。これからも地域社会への奉仕を考えメンバーが結束し活動をしていきます。

芦別ライオンズクラブは、第54代小塚弘昌会長の下、スローガン「チームワークでウィサーブ!!」を掲



5 R 1 Z

赤平ライオンズクラブ

「楽しい笑顔で社会奉仕」

PR委員長

L平瀬 広伸

赤平ライオンズクラブは、今期、新会長L獅畑輝明のもと「広げようライオンズの輪」をスローガンとし七月九日の初例会をもってスタートいたしました。

赤平ライオンズクラブでは、発足当時の熱き想いが様々なアクティビティを生み出してまいりました。交通安全運動キャンペーン・桜の苗木の植樹・福祉施設での餅つき大会など多くのアクティビティを行ってきました。

例年実施しております交通安全啓蒙事業として、十月二十日に街頭活動を行いました。市内の大型スーパー敷地内において赤平市長・赤歌警察署長のご挨拶をいただいた後、市民の皆様に参加者として運転者としてのマナー等に関するパンフレットを配布しました。折からの冷たい風の中、急ぐ足を止めて多くの市民のみなさまが心良く配布品を受け取っていた



いただきました。また来期には一層、パンフレット等に考慮を重ね交通安全運動を実施したく考えております。



今回で四十四回を迎える餅つき大会が、障害者支援施設フーレビラにて十二月五日行われた。当日は、施設利用者、近隣の百戸町々内会・百戸町老人クラブ、ライオンメンバー総勢八十名を越す催しとなりました。蒸しあがったもち



を施設利用者の皆さんとつき上げ、こねて、きなこ餅・あんこ餅・雑煮と一足早くお正月を迎えた気分の良い一日でありました。地域の交流にもほんのわずかお手伝い出来たかと思えます。

5R1Z

江部乙ライオンズクラブ

苦勞したランタン塔に明かり

PR委員長

L船奥保



まずは、昨年10月に行われた50周年行事には多数のご参加ありがとうございました。

去年より当地は、日本でも美しい村に加盟、またクラブの50周年を記念し今年は迫力の巨大ランタン塔3基を作成し、ランタン(紙袋)にろうそくを灯し川柳も初登場しました。

2月11日午後4時30分にランタン塔に会長・幹事・会計・PR委員長にてテープカットと同時に点灯致しました。

満天の星空の下、クラブ会員、見学者(300人)の方々が賑わいました。江部乙の菜の花地区に咲く花や地元風景など会員のライオンと主に豊島ライオンが中心となって6か月の



製作の出来栄は別として、皆で一生懸命作りました。

川柳の中には、昨年88歳を迎えた会員の作品、「お迎えが来るまで一杯呑んで待ってよう」や、「減っていく膝コラーゲンと預金額」などユーモアな作品がありました。

なお、詳しくは北海道新聞2月



6日、トップ記事に掲載、地方紙プレス空知2月3日に掲載されています。

豊島ライオンの苦勞したことは、絵を裏から照らすため重ね塗り、修正が出来ず何回も失敗したそうです。

何はともあれ成功しめでたし、めでたし。



5 R 1 Z

新十津川ライオンズクラブ

小さな手から始まった大きな実り「田んぼ体験ファーム」

PR委員長

井上 秀夫

今年度の会長西川雅浩、ライオンのスローガン『グローバルそしてローカル』のもと、様々な事業

を実施していますが、その中の一つ、青少年の健全育成を目的として、今では恒例となっている「田んぼ体験ファーム」を紹介します。

本町の基幹産業は農業であり、中でもお米は道内屈指の高品質、良食味の産地として知られており、農業や食を実感し、

理解を深めて貰うため、新十津川小学校の5年生60名余りの子供達に、手作業で田んぼ体験してもらう事業を、関係機関との協賛で実施しています。

春、児童達は、新十津川農業高校の生徒の指導を受け、素足で田んぼに入り、泥濁みに足をとられ、自分の名札の立ち一株、一株、豊作の願いを

込めて丁寧に手植えし、土色の田んぼを緑色に変え、広く静かだった田んぼ



に「ワーワー、キャーキャー」歓声が響いていました。

秋、緑色の田んぼは、農業高校生の愛情と自然の恵みを一杯に受けて、穂は重く頭を垂れて黄金色に変わりました。小学生達は、お兄さん、お姉さんから優しい指導を受け、手に鎌を持ち、恐る恐る一株、二株、稲を刈っていくにつれ、張っていた顔がすぐ笑顔に溢れ、自分の手で植えた穂すべてを刈り上げ、収穫の喜びを実感していました。

小学生と高校生が同じ目的にむ

かって作業することで、助け合いや、優しい気持ちを窺がえました。

収穫祭、11月には、子供たちが「おにぎり、めはり寿司、豚汁」などを作り全員で試食会、お米の出来るまでにこの様に手をかける事の大変さを体で覚える事で食べ物の大切さを知る事と思います。

今は機械化された稲作ですが、子供達は手作業を通して多くの事を感じ学んだ事でしょう。その一つでも将来の糧として大きく羽ばたいて欲しいものです。



5R1Z

滝川中央ライオンズクラブ

未来へつなぐ笑顔の奉仕活動
「資金造成チャリティーの集い」を終えて

幹事 L 藤井 英勝



滝川中央ライオンズクラブは、これまで「東北応援隊」として支援活動を行ってきたが、新体制発足前（27年3月）より新会長を中心に新三役で①新体制での環境整備 ②「地域連携」としてどのように関わりを深めるかの取組計画 ③「クラブの活性化」の実現等々大きなテーマがありました。

今 我々クラブがすべきことは何か？また我々に何ができるかでした。新会長から、次の2点が示され地域の子供たちの笑顔の活動とそのため資金造成活動、地域のみなさまのための活動（ACT）ただし新会長からベースには「市民のみなさまからご理解とご協力をいただく血の通う企画であり資金造成を獲得し、得た資金でACTをしましょう。」と熱い思いをしめされました。

8月30日（日）晴天の中、滝川B&Gにおきまして滝川市さまへペアカヌー1艇を寄贈し、さらに低学年を中心とした親子カヌー体験および水辺・川遊び安全教室と野外でのジーンズカンパニーで親子の笑顔いっぱい体験教室をしていただきました。

9月11日（金）「資金造成チャリティーの集い」を開催し多くの市民のみなさまにお集まりいただき大盛況の中 恒例の大抽選会も行い歓



声と笑顔で終了となりました。大抽選会での商品については、会員からの拠出もありますがその大半は集いで得た収益金でほとんどを賄うことができます。これは長年の当クラブの経験とノウハウ・会員の奉仕に対する強い意識がそうさせていると自負しております。

We serve（我々は奉仕するを最大のモットーとし、会員一人となり30有余年社会福祉活動に取組んでおります、今後も積極的支援活動のため滝川市との連携を深め、地域で暮らす子供たちや障がいを持つ方々それぞれが潤う地域社会の一助となるため今後も社会福祉活動してゆきます。

滝川中央ライオンズクラブ

会長スローガン

「愛と夢そして希望、未来ある子供たちへ」

会長 L 松本 敏之
幹事 L 藤井 英勝

会計 L 原 健之
PR委員長 L 小野 保之

事務局 〒073-0022 滝川市大町1-8-1滝川産経会館2F TEL(0125)24-5331

メールアドレス tc-lions@amber.plala.or.jp



5 R 2 Z

砂川ライオンズクラブ

青少年健全育成事業

『第15回砂川ライオンズクラブ少年剣道大会』

PR情報委員長

近藤 健一

砂川ライオンズクラブでは、2月13日(土)砂川市海洋センターにて、青少年健全育成事業の継続事業である「第15回砂川LC剣道・柔道大会」を開催しました。

大会は、日本の伝統文化である剣道・柔道を通じて気力・技・規律・礼儀を涵養し、対話、交流を図る中で、青少年の人格形成と健全な心身の育成に寄与することを目的とすることです。

当日は、砂川市内の少年剣道の選手28名が参加し、子供たちの父母、砂川剣道連盟関係者、砂川LCの関係者など100名を超える人が応援に訪れました。柔道大会は少子化に加えて、子供達との調整取れないことなどから、中止となってしまいました。少年剣士の奮闘により大会を盛り上げていただきました。

大会長の砂川LC会長L中谷数正が「砂川LCは、少年剣道・柔道大会を青少年の健全育成事業として支

援しています。選手の皆さん、今日の大会は、リラックスして怪我のないように、日頃の練習成果を発揮して頑張ってください。」と激励のお言葉があり、来賓の砂川市長L善岡雅文様、教育長井上克也様から「砂川LCの青少年健全育成事業の一環として少年剣道・柔道大会を開催していただき、ライオンズの日頃の奉仕活動に心から感謝しております。今日は、正々堂々と戦ってください。」の言葉がありました。選手宣誓が行われ試合が開始されました。

2名作られた試合会場、審判が各方面に3名、時計係は父母が配置され、コートの周囲に父母の顔、緊張の中で試合が行われ、少年剣士の「メーン」「ドー」「コテ」の大きな声が会場に響き熱戦の一挙一動に、父母も拍手の応援をしていただきました。

試合に勝っても、負けても、打っ



がすがしい大会でした。試合を待っている態度も高学年の選手が低学年の選手の面倒を優しく見ていただきましたし、観客となった父母も、時計係・記録係などのお手伝いをしていただきました。

大会が盛会に終わり閉会式となり選手・役員全員で「剣道の理念」を朗誦しようとなり「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である。」剣道修練の心構え「剣道を正しく真剣に学び、心身を錬磨して旺盛

でも、打たれても「ありがとう」がとうござい「ます。」と礼儀正しく挨拶をするし、実にす

なる気力を養い、「大きな声で力強く朗誦して閉会しました。続いて、お手伝いをしていただいたみなさんと「豚汁」に舌鼓してお腹を満たしていただきました。お手伝いを頂いた会員、父母、剣道の皆さん大変お世話になりました。

砂川ライオンズクラブ

会長スローガン

『楽しくゆかいな例会 そして、We Serve』

会長 L中谷 数正 幹事 L山田 巖
会計 L外川 美秀 PR委員長 L近藤 健一

事務局 砂川市西4条北4丁目1-2
TEL0125-52-4294 FAX0125-52-4296

〈砂川ライオンズクラブ広告〉

5R2Z

奈井江ライオンズクラブ

子供達の夢と活躍の場を

PR委員長

川口 進

勇ましく例会と奉仕



日(火)第一例会に2年振りに新会員1及川敏敬の加入がありました。現在22名の会員ですが奉仕事業に積極的に参加を頂いているところであります。

当クラブのアクティビティですが新入生の交通安全帽子贈呈、交通安全街頭啓発、奈井江町認定子供園絵本贈呈、歳末助け合いクリスマスパーティー、福祉施設慰問事業等、先輩達が築き上げた奉仕活動を継承し、実行して参りましたがその一部を紹介させていただきます。



子供達達の笑顔を見てみると、これからも子供達の夢と活躍の場を与えられるアクティビティを継続していく決意をライオン一同新たに致しました。

■青少年育成事業(活動資金助成)

7月28日(火)第二例会において、スポーツ少年団(サッカー・空手)、緑の少年団と3団体に、会長1河原忠明から育成資金贈呈を行いました。その後、各団体の代表の子供達から元氣いっぱいのお礼の挨拶があり、少し緊張していた子供がいました。

■薬物乱用防止キャンペーン

小・中・高校の児童生徒に対して薬物を使用しないよう、薬物のおそろしさを啓発する活動を実施しました。10月5日(月)早朝ライオン7名は自分達の小学校の頃と違い、誰もが簡単に禁止薬物と出会う可能性がある時代ですので各学校の校門前で、各ライオンは真剣に啓発用のパンフレットとポケットティッシュを「おはよう」の言葉を添えながら配布しました。

奈井江中学校では砂川警察署3

■福祉施設慰問事業

昨年12月には奈井江町内の福祉施設(やすらぎの家・町立病院・健寿苑・かおる荘)のクリスマスパーティーの開催に併せて、社会福祉委員会が中心となり慰問活動を実施しています。その際、些少ではありますがタオルの遺贈を毎年継続しております。



奈井江ライオンズクラブは1961年6月砂川ライオンズクラブのポンサーにより僅か19名で結成されたクラブです。これまで先輩達から培ってきたライオンズ精神を承継し、今年度第55代目会長1河原忠明のもと「笑顔で楽しく例会と奉仕」をスローガンとして奉仕活動を展開しております。会員は高齢化により減少傾向にありましたが昨年の10月6



5R2Z

そらちライオンズクラブ

カラオケ一曲歌うと募金

PR委員長

高林 和正

今期は、L荒木文一会長スローガン「清く 正しく 美しく」の下、半期で三つの事業を実践いたしました。

①社会奉仕事業「24時間テレビ・愛は地球を救う」

これは、今年で8年目となる募金応援隊として、8月22日(土) 滝川市の弁財天広場にて模擬店を出店し、焼き鳥、おでん、フランクフルト、ビール、ジュースなどを販売し、中でも、「福よし」さんの美唄やきとりは、二千本用意しましたが、閉店一時間前に完売となり大盛況でした。また、地元カラオケ同好会のご協力により、一曲歌うごとに募金をしていただきました。そして、多くの皆様に会場に足を運び、模擬店に設置した募金箱に募金をしていただき、特に子供たちが、貯金箱で貯めた硬貨を募金してくれたことに、メンバー一同深く感動し、感謝しております。



子供達も募金に協力してくれました。

の弁財天広場にて模擬店を出店し、焼き鳥、おでん、フランクフルト、ビール、ジュースなどを販売し、中でも、「福よし」さんの美唄やきとりは、二千本用意しましたが、閉店一時間前に完売となり大盛況でした。また、地元カラオケ同好会のご協力により、一曲歌うごとに募金をしていただきました。そして、多くの皆様に会場に足を運び、模擬店に設置した募金箱に募金をしていただき、特に子供たちが、貯金箱で貯めた硬貨を募金してくれたことに、メンバー一同深く感動し、感謝しております。

当日の販売収益と募金は、STVに募金いたしました。

②青少年健全育成事業の「自然満喫ラフティング体験」

これは、昨年まで9年間継続してきました「夏休みクルージング体験の後継事業としての試みで、1年目の今回は、砂川市立北光小学校6年生の児童と引率の先生を対象に8月29日(土)南富良野町の空知川上流で実施いたしました。急流での豪快な水しぶきに児童のみならず、引率の先生、クラブメンバーも大歓声を上げていました。



ラフティングに歓声をあげる北光小の児童たち

いきました。昼食はみんなでおバーベキューで賑やかに過ごし、昼食後は富良野市内に移動して、アイスクリームの手

作り体験で、ちょっと遅いデザートとなりましたが、皆さんに喜んでいただきました。この日の体験で、北海道の美しい自然を身近に感じてもらうことができたいと思います。

③青少年健全育成事業の「中学生バレーボール教室」

これは、昨年初めて行われた近隣市町の中学生を対象として、12月13日(日)講師に元全日本女子バレーボール選手、現在はプロビーチバレー選手の田中姿子さんを招き開催しました。今回は近隣市町の中学校8校から総勢78名の生徒が参加しました。午前の部と午後の部に分けて練習指導を行い、生徒たちは真剣に田中選手のアドバイスを聞いていました。

今回紹介しましたアクティビティを通じて、地域社会への奉仕の精神を大切にして、青少年の大专及以上学历が育むことを願い、今後も地道に続けて行きたいと思っております。

5R2Z

滝川グリーンライオンズクラブ

ささやかな奉仕活動

PR委員長

上田 千香子

なかなか紹介するほどの奉仕活動が出来ていない我がクラブ。それと言うのもまず会員数が少

なく、その上まだ若く多く現役で仕事をしている会員が多いためです。例会の時間もまだ仕事が終わらず、終わり次第駆けつけてくれますが、地方の仕事で間に合わなかったりもします。

なかなかアクティビティをしようにも金銭的にも労力的にも限界があり、ささやかな活動をするのが精一杯です。

一つ目の活動は薬物乱用防止運動の一環として、毎年浦臼の鶴沼公園で啓発運動をしています。

浦臼の新そばまつりにあわせ、薬物乱用防止のミニパンフやティッシュ、爪楊枝入れに風船などを配っています。特に爪楊枝は知り合いの方に手間隙



掛けて作っていた。だいて、来場者の方もみんな喜んで受け取って貰えます。最初の頃は薬

物乱用防止「ダメ・ゼッタイ」のキャラバンカーが現地まで来てくれたのですが、システムが変わって北海道には来れなくなり残念です。

二つ目の活動はしらかば会という難病の会の方たちと一緒にそば打ちをし、自分達で打ったお蕎麦をその場でゆがいて皆で食するというもの。

なかなか体を思うように動かさない病気をもちの方々なので、スムーズには行かないのですが、



それでも毎年このイベントを楽しみに闘病されてる方たちなので、少しでも気分転換となり楽しい時間を過ごして頂けてるのではと思っています。

まだまだ設立してから8年目の新しいクラブですので、一人でも会員を増やして行きつつ、新しい奉仕を計画していけるようにして行かなければと思います。



5R3Z

深川ライオンズクラブ

[Activation of Lionism]

地域のニーズに応えるアクティビティ

PR委員長

L鈴木 伸二

今年度、L明月健二会長は、「Activation of Lionism」というスローガンを掲げ、地域のニーズにこの活動に携わるメンバー自らが、社会的責任を自覚し、愛のある温かいボランティア精神を持ってアクティビティを行ってまいりました。

それでは、本年度の当クラブで行ってきたアクティビティをご紹介します。

2015年9月11日深川市役所前での献血推進事業を行いました。当日は平日にもかかわらず、市役所職員、ご近所の方々など多くの市民が献血にご協力くださいました。

2015年9月19日、20日の二日間で青少年育成事業として、第一回深川ライオンズ杯少年野球大会を深川市民球場で開催いたしました。小学4年生、5年生を対象とした大会であり、選手は大きな球場でハッパツと元氣よくボールを追いかけ、時には笑顔で、時には真剣な眼差しでプ

レーしていました。当クラブでは、個人賞(最優秀選手、優秀選手、敢闘選手)としてメダルを、また、惜しくも敗退したチームにはボール1ダースを贈呈いたしました。



2015年9月26日には昨年引き続き、知的障がい者支援施設で開催される地域交流事業に参加し、ラーメン店を出店致しました。地域の方々や施設利用者から大変好評で予定していた数は完売し、その売上金を全て施設に寄付するアクティビティを行いました。

その、イベントステージでは現会



長、幹事、元会長の三人がギターを弾き美声を披露しイベントを盛り上げました。また、その知的障がい者支援施設を利用しての皆さんと2015年10月31日にボウリング大会を開催し、利用者さん、当クラブメンバーと一緒にゲームを楽しみ、その後は市内の焼き肉店でたくさん焼肉を食べて頂き、楽しい一日を提供するアクティビティを行いました。

以上、今年度のアクティビティを紹介いたしました。次年度まで残り少ない期間ではありますが、会長スローガンの下、クラブメンバー一丸

深川ライオンズクラブ

会長スローガン「Activation of Lionism」

会長 L明月 健二
会計 L倉本 茂子

幹事 L米本 聡
PR委員長 L鈴木 伸二

事務局 〒074-0022 深川市北光町2丁目14番4号 TEL(0164)22-2220

http://www.e-clubhouse.org/sites/fukagawa/ E-mail fuka-lions@mx6.et.tiki.ne.jp

〈深川ライオンズクラブ広告〉

5R3Z

沼田ライオンズクラブ

7月には会員3名増



今期会長スローガン「心にくる奉仕活動」のもと、7月には会員が3名増え出だしの良いスタートとなりました。8月は、献血、夜高あんどん制作奉仕、あんどん祭も今年40周年の節目をむかえ、8月の第4金、土に催されました。北海道三大あんどん祭に数えられ、あんどん同士のぶつかり合いが見どころの祭りです。10月は、「明日萌・ほたるの里ウォークラリー」での給水所でのお手伝い、そののち「紅葉まつり」への参加、交通安全アクティビティ、当クラブ50周年の時に町内各所に寄贈した、プラントー撤収作業と10月は行事の多い月です。12月



PR委員長

は、献血、「歳末助け合い・クリスマス家族会」今期は会員の呼びかけにより、L.L.の方の出席が多く大変盛り上がりしました。こんなかんじで、前期の行事がおおいです。後期も地域に根差した活動をしていきたいと思っています。



L上林 文雄



5R3Z

雨竜ライオンズクラブ

新入学児童へ記念品

2015年7月から2016年6月までの雨竜ライオンズクラブは、沖田浩一会長のスローガン「皆で地域に貢献し 新たな時代を築き上げる」の下、一年間様々な奉仕活動等を実行・計画しております。



寿園で開催の「納涼夏祭り」、雨竜町こども育成連主催の「うりゅうこども祭り」に金銭アクティビティを実施致しました。

9月にはいきいき元氣村雨竜ライオンズクラブ会長杯パークゴルフ大会を開催致しました。この大会は町内外から多数の参加者が集まり、熱い戦いが繰り広げられました。



PR委員長

須見 栄一

10月上旬には雨竜高等養護学校の2年生を雨竜町パークゴルフ場に招待致しました。2つのコースに分かれ、町内パークゴルフ愛好者の指導の下でプレーを体験してもらい、教員や生徒・町民との交流を、スポーツを通じて深めてもらいました。

11月には薬物乱用防止教室を雨竜中学校で開催致しました。小中学生計110名の参加を戴き、サッポロシニアライオンズクラブの吉田L講師の下、薬物乱用の恐ろしさについて深く考える貴重な機会となりました。

12月には歳末たすけあい義援金の拠出を実施し、翌年の1月には雨竜町こども育成連主催の「冬季レクリエーション大会」の金銭アクティビティを行いました。1月にはLCIF献金(会員一人当たり\$20)も実施致しました。

今後は4月に小学校入学式に



て、新入学児童へ記念品贈呈を行います。そして5月には、雨竜高等養護学校の新1年生を町内公共施設見学に招待し、地域産業等について学んでもらう予定です。以上の様な活動を通じてクラブ一丸となり、これからも会員全員で地域貢献を引き続き行い、新しい時代が築けるよう、積極的に活動を行って参りたいと思います。

5R3Z

北竜ライオンズクラブ

認証40周年記念アクティビティ



我クラブは今期認証40周年を迎えました。この間に町の人口は二〇〇〇人を割り、クラブ会員も26名に減少しましたが郷土を愛する気持ちに燃え、未来ある青少年の健全育成を中心に地域に密着した数々の奉仕活動を展開してきました。

今回の記念アクティビティは保育園・小学校・中学校そして各団体の希望に沿ったものとして実施いたしました。

その内容としては保育園に教材。小学校はスポーツ少年団の野球にピッチングマシン、バレーにはユニホームほか用具一式。中学校は野球部にヘルメット、バレー部にはユニホーム。北竜



ひまわり観光協会には花のプランター。また公園には桜苗木を記念植樹をした。

記念式は九月六日に行ったが、内輪のみの簡素な式典・祝賀会とした。

PR委員長

L本家 博之





3R1Z合同アクト

地区PR・ライオンズ情報委員長

森 一男

「宇宙飛行士になりたい」 みんなで見つけよう仕事探検教室を開く

「宇宙飛行士になりたいです」―第

3R第1Zの合同アクティビティ―

「みんなで見つけよう 仕事探検教

室」が、1月27日清田区の真栄小学校

の体育館で開かれた。6年生66人が、

仕事の事を学び、代表が夢を語った。

3R1Zでは、初のキャリア教育で、

昨秋から、佐藤修ゾーン・チエアパー



グループセッションで小川市議のタスキを掛ける生徒

ソンを中心に5LCが打ち合わせを
して来た。

探検教室は、5時間目がパネルディ

スカッション、6時間目がグループ

セッションの2部制。村上直史校長が

「これからの人生で、苦しかったり、つ

まづく事もあると思う。人生の大先

輩に生きるヒントを聞いて、勉強しよ

う」と話した。一部では、①なぜ今の仕

事についてなのか ②仕事をしていての

喜び、苦勞 ③生徒に将来のメッセー

ジを各クラブのパネラーが語った。

札幌ポプラLCの本藤司「私は、

先生に憧れ、北海道の教員になり

ました。スキーが好きだったので、ジャ

ンプやアルペンを生徒に指導しまし

た。何とか、オリンピック選手を育て

たかった。4人が、五輪へ行き、夢がか

ないました。夢は捨てないでくださ

い」

東LCの小野内雅子「最初は自
動車学校の先生をしましたが、好きに

なれず、司法書士の資格を取りまし
た。試験に4回落ちました。お客の悩
み事を聞くなどして、いろいろな出逢
いがあります。目的を達成した時の喜
びは大きい。沢山、勉強してください」

トラストLCの柴山ひろこ「不動
産業をしています。地主と交渉し条
件が合つて、契約が成立します。あな
たなら任せられると言われた時、嬉し
いです。不動産業は、男性社会で女性
は軽く見られました。セミナーに出て
勉強しました。今は、天職だと思いま
す。感性豊かな人生を送ってください
い」

リバティLCの柳田耕太郎「私は
塗装業ですが、古い建物にペンキを塗
り、新築同然となり、家主が喜んでく
れます。信頼が大事。失敗を重ねても
良い。夢に向かってチャレンジしよ
う」

スノートピアLCの小川直人「私
は市会議員ですが、当選するために
は、1万人もの人に名前を書いて貰わ
ないとダメです。選挙前、2万人に挨
拶をしました。幸せをつかむには努力
が大事です。札幌の将来のために、グ

ローバルな人間になって欲しい。国際
人になるためには、英語の勉強もしよ
う」

第2部では、5グループに分かれ、
仕事に対する情熱などを、3人のメン
バーを交えて話し合った。小川は選
挙のタスキを持参、生徒にマイクを持
たせて模擬演説をさせたりした。

最後に生徒の代表が「仕事に挑戦
する事の大切さを知りました」「専門
学校に進み、人のために役立ち、お客
さんの笑顔を見たい」「宇宙飛行士に
なる夢があります」などと、感想を述
べた。

最後に、佐々木俊明教頭は「札幌
ドームのスマップや嵐、AKB48の
コンサートに行く、8千円から1万
円もします。札幌でリーダーをしてい
る人の体験談を聞きました。体育館を
ドームだと思えば、1万円価値があ
る授業でした。仕事は、一生勉強です」
と、生徒を励ました。

業種の違うメンバーの熱弁は、生徒
に大きな感銘を与えた。生徒が終始メ
モを取り、中学進学前の実のある舞台
になった。

第34回札幌市長旗少年少女柔道交歓大会

札幌すすきのライオンズクラブ
PR・IT委員長

L有田 真人

将来有望な少年少女が集い盛大に開催



去る、平成27年11月29日曜日、北海道立総合体育センター「北海きたえーる」サブアリーナにおいて、第34回札幌市長旗少年少女柔道交歓大会を開催いたしました。

当クラブはこの大会を第19回大会から後援し、第28回大会から札幌柔道連盟と共に主催して参りました。当日は主催者を代表し、札幌すすきのL C会長L川井卓よりご挨拶を申し上げます。また、9時半からの開会式には札幌市観光文化局スポーツ担当局長 石川敏也様、国際協会331-A地区ガバナーL安部尚明様にご参列していただき、激励のご挨拶をいただきました。



札幌市内の柔道少年団、柔道倶楽部から16団体、213名の将来有望な少年少女が集まり、盛大に柔道交歓大会を開催することができました。大会は、団体戦予選リーグから始まり、小学生男子女子個人戦、中学生男子女子個人戦と続き、日頃の鍛錬の成果をいかななく発揮している子ども達の真剣な姿を見ていると、胸が熱くなるのを禁じえませんでした。今回



の大会も大きな怪我もなく、主催者として胸をなでおろしているところであります。

当クラブのメインアクティビティとして開催しているこの柔道大会参加者の中から、将来のオリンピック代表選手が生まれることを願って止みません。

最後になりましたが、主管として運営に携わっていただいた篠路柔道少年団の皆様へ感謝の意を表したいと思います。ありがとうございます。



2016-2017年度 第一副地区ガバナー立候補者



札幌トラストライオンズクラブ
のざわ まさあき
L 能澤 正明

所属クラブ 札幌トラストライオンズクラブ

勤務先

有限会社能澤理容美容院 代表取締役会長
〒065-0012 札幌市東区北12条東1丁目1-22
TEL(011)711-6271 FAX(011)711-6288

生年月日 1940年10月6日

ライオン歴

1981年 札幌時計台ライオンズクラブ入会
1993年 クラブ会長
1994年 331-A地区 キャビネット副幹事
1997年 331-A地区 青少年指導・レオ・ライオネス委員長
2001年 331複合地区 運営委員会副委員長
331-A地区 キャビネット幹事
2002年 331複合地区 YE委員長
2003年 331-A地区 第2R リジョン・チェアマン
331-A地区 MERL委員
2007年 331複合地区 年次大会委員長
2012年 札幌トラストライオンズクラブチャーターメンバー
2014年 331-A地区 ライオンズアラート委員長
2015年 331-A地区 第二副地区ガバナー

受賞アワード

メルビン・ジョンス・フェロー賞 8回
2001年~2002年度 国際会長 リーダーシップ賞

学 歴 昭和43年 北海道立深川東高等学校

2016-2017年度 第二副地区ガバナー立候補者



札幌清田ライオンズクラブ
あらい よしかず
L 荒井 喜和

所属クラブ 札幌清田ライオンズクラブ

勤務先

株式会社 シンワ商会 代表取締役
〒004-0871 札幌市清田区平岡1条1丁目7-20
TEL(011)881-3939 FAX(011)881-3890

生年月日 1953年5月18日

ライオン歴

1999年 7月1日入会
2003年~2004年度 クラブ幹事
2004年~2005年度 331-A地区 第1R2Zゾーン委員
2005年~2006年度 331-A地区 第1R PR・YE委員
2009年~2010年度 クラブ会長
2013年~2014年度 331-A地区 第1R2Zゾーン
チェアパーソン
2015年~2016年度 331-A地区
百年記念地区特別事業委員長

受賞アワード

2005年~2006年度 アショク・メータ国際会長感謝状
2013年~2014年度 バリー・J・パーマ優秀国際会長感謝状
メルビン・ジョンス・フェロー賞 3回、会長キー賞 10回

学 歴 中央学院大学

会員動向

		331-A 地区						
		1 R	2 R	3 R	4 R	5 R	6 R	合計
期首	LC数	14	16	9	12	15	8	74
	会員数	564	597	376	382	486	365	2,770
	内、家族会員数	135	147	53	52	80	34	501
12月末	LC数	14	15	9	12	15	8	73
	会員数	586	620	360	389	502	360	2,817
	内、家族会員数	144	148	49	57	86	31	515
1月末	LC数	14	15	9	12	15	8	73
	会員数	588	624	358	388	506	362	2,826
	内、家族会員数	144	152	49	57	86	31	519
期首～1月末 会員増減数		24	27	▲ 18	6	20	▲ 3	56

アクティビティ活動状況

	12月計		1月計		2015-16年度 累計	
金額アクティビティ	105件	9,385,552円	62件	5,143,671円	947件	76,879,856円
事業資金獲得	3件	271,959円	2件	745,033円	35件	12,787,177円
労力アクティビティ	74件	1793.5 H	55件	804 H	649件	22860.5 H
献血	4件	239,000cc	7件	325,900cc	165件	1,758,440cc
アイバンク登録者	0人		0人		35人	
角膜提供者	0人		0人		0人	
薬物乱用防止教室 開催件数	21件		8件		62件	
薬物乱用防止教室 動員数	2973名		510名		7722名	
使用済み切手	125,346枚		212,162枚		1,050,836枚	
書き損じ葉書	338枚		40枚		2,835枚	
使用済みプリカ	188枚		30枚		2,441枚	
例会、アクティビティ等の招待者数	678名		79名		1558名	

LCIF拠金集計表

	12月計	1月計	2015-16年度累計
クラブ数	13	19	89
人数	8人	9人	119人
金額	8,000ドル	9,000ドル	119,000ドル

【12月分】 L 鶴嶋 浩二 (札幌中島) 46回目
 L 能登 昭夫 (札幌エルム) 17回目
 L 原田 和夫 (札幌大通) 8回目
 L 近藤 昌克 (札幌時計台) 3回目
 L 今野 正明 (札幌時計台) 10回目
 L 杉山 正明 (札幌時計台) 12回目
 L 佐藤 伸昭 (札幌時計台) 1回目
 L 村太 悦郎 (札幌時計台) 8回目

【1月分】 L 谷 征輝 (札幌) 10回目
 L 佐藤 昌洋 (札幌赤レンガ) 3回目
 L 鶴嶋 浩二 (札幌中島) 47回目
 L 諏訪 昇三 (札幌時計台) 13回目
 L 山田 清司 (札幌時計台) 9回目
 L 林 孝幸 (滝川中央) 18回目
 L 鈴木 善一 (千歳) 10回目～11回目
 L 佐々木 亘 (千歳) 3回目



ガバナーズローガン

ウィ・サーブ・日々・是・獅子道

常に情熱をもって、工夫と努力を…

2017年には100周年を迎えるライオンズ。今こそ知恵を出し合う時だと思えます。新しいものと、古いものとの調和をはかり、社会全体が変わればその時代に見合った運営・活動など、社会奉仕の重要性を認識し、クラブも会員も意識改革をしていく必要があると考えます。

私のスローガンは「字」のごとしであり、ライオンマンとして会員相互の和と、お互いにマナーと秩序を大切に、常に反省を忘れず、常に考え、常に工夫努力し、情熱をもって変化する未来に向かって、社会奉仕をしていかなければならないと思い「**ウィ・サーブ・日々・是・獅子道**」としました。

シンボルマーク

●マークの由来

澄み渡る大空と緑が萌える大地を「グリーン」。白銀に輝く雪の季節を「シルバー」。四季を通して躍動する北海道の大地に力強く育むクローバーの生命力。この限りなく広がるクローバーのごとく、いつまでも無限に広がる未来。

私たちも、常にウィサーブの精神を忘れず、楽しいクラブライフを築けますよう工夫・変化・未来・挑戦・6リジョンの発展・幸せを六葉のクローバーに願いを込め、さらに全体をライオンのLで支え、ゆるぎない安定を表現したものです。

岩見沢メープルライオンズクラブ

さいとう まさや
Ｌ 齊藤 昌也

bar すたび 店主

■〒068-0812
岩見沢市2条西1丁目2条ビル2F
TEL (0126) 20-1151
■生年月日 1976年12月12日

入会：2016年2月1日 スポンサー：L稲葉 ひふ美



札幌まるやまライオンズクラブ

いそがわ まみ
Ｌ 五十川 真実

ミュール 代表

■〒064-0805
札幌市中央区南5条西3丁目 グランド桂和ビル3F
TEL (011) 561-8311
■生年月日 1965年2月4日

入会：2015年12月17日 スポンサー：L新田 廣司



江部乙ライオンズクラブ

じんの
Ｌ 神野 さくら

スナック 恋～れん～
代表

■〒073-0021
滝川市本町2丁目3-2 エビスビル3F
TEL (0125) 23-5770
■生年月日 1975年4月15日

入会：2016年1月1日 スポンサー：L大阪 史弘



札幌グリーンライオンズクラブ

はやし たかし
Ｌ 林 隆志

ハヤシ電興株式会社
代表取締役社長

■〒064-0808
札幌市中央区南8条西1丁目1-2
TEL (011) 531-1886
■生年月日 1969年6月27日

入会：2016年1月1日 スポンサー：L岡山 豊昌



江部乙ライオンズクラブ

すずき まさき
Ｌ 鈴木 雅貴

有限会社粟井商店
代表取締役

■〒079-0463
滝川市江部乙町東12丁目1-1
TEL (0125) 75-2501
■生年月日 1964年6月24日

入会：2016年1月1日 スポンサー：L谷内 良光



札幌ライラックライオンズクラブ

すとき やすじ
Ｌ 壽時 康二

株式会社ジャパン インシュアランス エージェント
代表取締役

■〒060-0061
札幌市中央区南1条西12丁目322番地 ストキビル1F
TEL (011) 241-7686
■生年月日 1954年12月2日

入会：2016年3月1日 スポンサー：L滝本 隆



滝川中央ライオンズクラブ

おかべ じゅんや
Ｌ 岡部 潤哉

有限会社岡部商店
専務取締役

■〒073-0031
滝川市栄町4丁目7-8
TEL (0125) 22-2745
■生年月日 1975年9月26日

入会：2016年1月7日 スポンサー：L岩村 征一



札幌ライラックライオンズクラブ

やなぎ たかこ
Ｌ 柳 高子

for you 代表

■〒064-0804
札幌市中央区南4条西3丁目 ニュー北星ビル6階
TEL (011) 241-4744
■生年月日 1962年2月7日

入会：2016年3月1日 スポンサー：L市川 俊明



出会いの感動を刻む

京王プラザホテル札幌へようこそ。私たちは広場のように集い行き交う、
人と人の出会いを大切に、一人ひとりのゲストを真心こめてお迎えます。

 **京王プラザホテル札幌**

札幌市中央区北5条西7丁目2番地1 TEL 011-271-0111(代表) <http://www.keioplaza-sapporo.co.jp>



〈札幌もいわライオンズクラブ広告〉



江別ライオンズクラブ

すずき ひとし
L 鈴木 仁志

丸彦渡邊建設(株) 江別支店
支店長

■〒067-0001
江別市王子3番地
TEL (011) 382-2640
■生年月日 1955年9月21日

入会: 2016年1月1日 スポンサー: L岡崎 晃三



滝川中央ライオンズクラブ

むらい としゆき
L 村井 利行

滝運産業株式会社
部長

■〒073-0025
滝川市流通団地2丁目4番51号
TEL (0125) 74-6022
■生年月日 1950年8月3日

入会: 2016年1月7日 スポンサー: L林 孝幸



江別ライオンズクラブ

たにふじ のりと
L 谷藤 典音

医) 藤音会 江別谷藤脳神経クリニック
医師・理事

■〒069-0812
江別市幸町4-10
TEL (011) 382-3333
■生年月日 1964年3月9日

入会: 2016年1月1日 スポンサー: L岩田 美佐男



滝川中央ライオンズクラブ

かんばら まき
L 蒲原 マキ

ラウンジ シルク
代表

■〒073-0021
滝川市本町2丁目2-3 三栄ビル1F
TEL (0125) 22-7742
■生年月日 1970年9月26日

入会: 2016年1月7日 スポンサー: L松本 敏之



江別ライオンズクラブ

なりた せいさち
L 成田 清吉

有限会社成田塗装
代表取締役社長

■〒067-0063
江別市上江別西町14-1
TEL (011) 382-5596
■生年月日 1960年8月23日

入会: 2016年1月1日 スポンサー: L岩田 美佐男



江別ライオンズクラブ

わだ よしあき
L 和田 義明

自由民主党北海道第五選挙区支部・支部長

■〒004-0053
札幌市厚別区厚別中央3条5丁目8
TEL (011) 896-5505
■生年月日 1971年10月10日

入会: 2016年1月1日 スポンサー: L町村 均



砂川ライオンズクラブ

楽しくゆかいな例会そして、We Serve

[会長] L中谷 数正 [会計] L外川 美秀
[幹事] L山田 巖 [PR委員長] L近藤 健一

新十津川ライオンズクラブ

グローバルそしてローカル

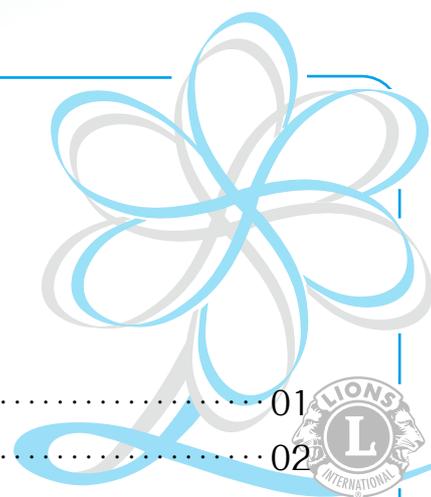
[会長] L西川 雅浩 [会計] L宮本 英靖
[幹事] L菅原 盛雄 [PR委員長] L井上 秀夫

2016年正月号の年賀広告でクラブ名に間違いがありました。正しくは上記の通りです。

お詫びいたしますとともに訂正して掲載いたします。

CONTENTS

■第3回キャビネット会議	01
■会長・第一副会長 ZC 緊急会議	02
■連載企画 「明日のライオン像を語る」 最終回	04
■委員会報告	
地区ライオンズクエスト委員会	08
■委員会・クラブ報告	
地区平和ポスター・コンテスト委員会／薬物乱用防止ポスターコンクール実行委員会	10
■委員会報告	
地区献眼・献血委員会	12
■リジョン特集	
3R1Z	14
3R2Z	19
5R1Z	23
5R2Z	29
5R3Z	33
■クラブ報告	
3R1Z 合同アクト	37
第34回札幌市長旗少年少女柔道交歓大会	38
■2016-2017年度 副地区ガバナー候補	39
■会員動向・アクティビティ活動状況	40
■地区ガバナースローガン	41
■新入会員の紹介	42
■第62回 地区年次大会について	46





訃報

心よりご冥福をお祈り申し上げます



砂川ライオンズクラブ
すずき せいじ
L鈴木 誠二

ライオン歴

1969年3月	入会
1976年7月～1977年6月	砂川ライオンズクラブ副テールツイスター
1977年7月～1978年6月	砂川ライオンズクラブ会長
1987年7月～1988年6月	砂川ライオンズクラブ会計監査
1991年7月～1992年6月	砂川ライオンズクラブ会計監査

2016年2月16日 享年96歳



札幌ライオンズクラブ
みの しょうぞう
L三野 昭三

ライオン歴

1968年3月	入会	1987年～1988年	会長
1978年～1979年	テールツイスター	1988年～1989年	前会長
1979年～1981年	理事2年、理事1年	1989年～	特別会員
1984年～1985年	第三副会長		
1985年～1986年	第二副会長		
1986年～1987年	第一副会長		

2016年10月20日 享年87歳

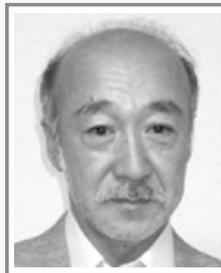


札幌北の杜ライオンズクラブ
おおたに やすき
L大谷 康樹

ライオン歴

2009年1月21日 入会

2016年2月25日 享年63歳



長沼ライオンズクラブ
うえだ たけひさ
L上田 武久

ライオン歴

2010年7月22日	入会	2014年～2015年	テールツイスター
2010年～2011年	安全衛生委員	2015年～2016年	事業委員
2011年～2012年	事業副委員長		
2012年～2013年	事業副委員長		
2013年～2014年	テールツイスター		

22016年2月13日 享年61歳

質の高い「ビジュアル・コミュニケーション」をささえる
商業印刷専門企業



協和印刷株式会社

〒063-0834 札幌市西区発寒14条14丁目2-50
TEL.011-666-1641 FAX.011-669-2322
<http://www.kyowa-pt.co.jp>

～ 一步、一穂、北の大地から ～
横山製粉株式会社

小麦粉・そば粉・プレミックス粉の製造販売



「ReraPirka」とは、北海道産原料を使用した自社ブランドです。
本社・工場: 〒003-0028 札幌市白石区平和通5丁目南2番1号 011-864-2222
営業所: 東京、名古屋
<http://www.y-fm.co.jp>

ライオンズクラブ国際協会 331 - A 地区 第62回地区年次大会

大会要綱

月 日		時 間	会 場	
2016年 5月29日(日)	記念講演会	10:30~12:00	ニトリ文化ホール	
	売 店	11:30~14:30	ニトリ文化ホール 軽食・ビール・ソフトドリンク	
	代議員登録	12:00~12:50	ホテルさっぽろ芸文館 札幌市中央区北1条西12丁目 TEL 011-231-9551	
	代議員総会	13:00~13:20		
	代議員分科会	13:20~14:00		
	<登録料>	代議員再開総会	14:00~14:20	ニトリ文化ホール 札幌市中央区北1条西12丁目 TEL 011-231-9571
	L:10,000円	式 典 登 録	13:30~14:30	
LL:5,000円	式 典	14:30~17:45		
	懇 親 会	18:00~20:00	ロイトン札幌 札幌市中央区北1条西11丁目 TEL 011-271-2711	

※例年と時間帯が変更となっております。お間違えのないようにご参加下さい。

※「ニトリ文化ホール」ロビーに売店を設置し、軽食、ビール、ソフトドリンクを販売致します。是非ご利用下さい。

※「ニトリ文化ホール」には大型バスの駐車場はありません。

各クラブにおいて駐車場を確保して頂きますようお願い申し上げます。

※記念ゴルフ大会は開催致しません。

委員会並びに分科会

1. 資格審査委員会
2. 議事運営委員会
3. 指名・選挙委員会
4. 決議委員会

【第1分科会】

会則・付則、経理、GMT、GLT、LCIF、FWT
指導力育成

【第2分科会】

百周年記念・地区特別事業、PR・ライオンズ情報、環境保全
献眼・献血、社会福祉・視聴力障害、アラート
情報・IT、国際関係

【第3分科会】

青少年育成・YCE、ライオンズクエスト、薬物乱用防止
平和ポスターコンテスト

『第62回地区年次大会』第2回部会長・副部会長会議が去る2月8日キャビネット事務局に於いて全員出席のもと開催された。地区ガバナーL安部尚明よりご挨拶、会計L松下馨が各部会の予算案説明後、各部会の実施案と進捗状況の説明がなされた。日本ゴルフ協会会長倉本昌弘氏による前日のジュニアアレックスン、当日の多数の一般参加を募ったの記念講演会、ビールも販売のおもてなしの売店の開設、スピーディな中にも慎重審議の代議員会、厳粛な中に淀みなくスピーディなプログラムの進行の式典、懇親会では6R対抗のカラオケ大会等等、一年間活動された足跡の集大成の場を、崇高な奉仕活動を賞賛し合い、次期ガバナーの門出を祝福し、友情の絆と相互理解を深め合える有意義な大会の成功に向けて活発な議論が行われた。L各位の御協力なしに大会の成功はありえません。何卒御協力を賜りますようお願い申し上げます。

年次大会成功の主役はLの皆様です

地区年次大会委員長

L谷 征輝

ロイトン札幌ご法要のご案内

故人らしき漂い、家風にふさわしい偲ぶ会
ロイトン札幌のご法要は様々な要望にお応えいたします。



▲仏式祭壇の一例



例 ▲和洋中折衷料理
(10,000円コース)

※掲載の料理写真はイメージです。



▲パールホール (20F)
札幌市街を眺望できる最上階のホールです。

ご法要相談会 4月11日(月) 10:00~15:00
会場 / ロイトン札幌 20F

ご法要 お見積例 ~20名様の場合~	式 祭壇設置料 装花 仏具 お供物(フルーツ、菓子各1台) お霊供膳 室料(法要会場) ご住職控室	一式 10,000円のところ	84,000円のところ ライオンズクラブ 会員様特典50%割引 42,000円 → サービス
	会食 ご法要会食 和洋中プラン ビール ソフトドリンク } ※当日ご利用実数計上	10,000円×20名 831円×20本 594円×10本	小計 222,560円
	合計	264,560円	
	おひとり様	13,228円	

※上記料金には、消費税・サービス料が含まれております。

お問い合わせは宴会予約課まで

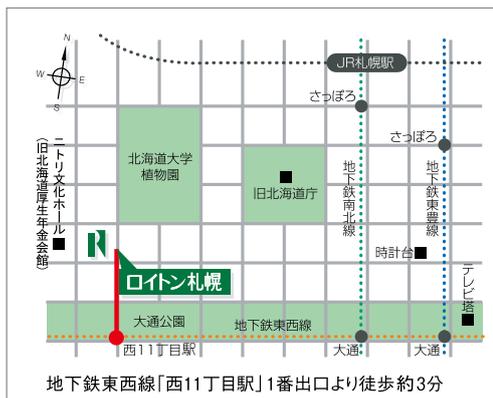
TEL. 011-207-3315(直通)

ロイトン札幌

Daiwa House Group®



〒060-0001 札幌市中央区北1条西11丁目
http://www.daiwaresort.jp/royton/



交通安全啓発 Activity に最適!!

〈新入学向け〉A4判カラー



〇〇ライオンズクラブ

ライオンズクラブ名を
表紙に印刷できます

※詳しくはお問い合わせください



〈高齢者向け〉A3 三ツ折カラー



わかりやすく、注目されやすい、
多様な交通安全啓発資料を取り揃えています

●全国の交通事故データを分析した結果に基づき、事故の発生実態に即した実践的な内容を盛り込んだ交通事故防止のための啓発資料を対象別に取り揃えております。

商品ラインアップ

- **ドライバー向け**
(飲酒運転防止・シートベルト・高速道路・冬道等)
- **高齢者向け**
(ドライバー・歩行者・自転車の交通ルール等)
- **幼児・小学生向け**
(歩行者・自転車の交通ルール等)
- **一般・成人向け** (保護者・自転車利用者等)
- **管理者・指導者向け**
(道路交通法関連・講話集等) ……など

- GLT 地区コーディネーター
L 月居 吉彦
(札幌スノートピアLC所属)



〒065-0015 札幌市東区北15条東18丁目1番26号
☎(011)783-9090 FAX(011)783-9555
ホームページ▶<http://www.signal-net.co.jp/>

★小社は、昭和46年の設立以来、全国の自治体や警察署、交通安全関係機関・団体、企業等に向けて、交通安全教育のための冊子・チラシ等の製作を行っている出版社です。

〈札幌スノートピアライオンズクラブ広告〉

ラグジュアリーホテルのラウンジような非日常空間で、例会などの二次会を演出可能

ワンフロア利用の広々とした店内は
最大80名までご利用可能。
ご予算や人数等お電話でご相談下さい。



豪華で特別な普段と違う二次会を行い
たい、そんな思いを叶えられるお店。
静かな店内で落ち着いた時間を過ごし
たい方には最適な空間。

90分飲み放題 4,000円(税別)

例会二次会にご利用の際は、税込で対応いたします。

- ハウスワイン(赤・白) ※ハウスワインは月替りでセレクト
- 生ビール、ウイスキー、焼酎各種、ソフトドリンク各種
- 女性は税・サービス料をサービス ● オードブル等は別途要相談
- 持込料は無料 ● 大型プロジェクター、音響設備完備

Bar & Lounge **Godfather**

札幌市中央区南5条西3丁目北専プラザ6F

TEL **011-512-5101**

■ 営業時間 / 19:30~ ■ 日・祝日休み

〈札幌オーロラライオンズクラブ広告〉

滝川グリーンライオンズクラブ

事務局 〒073-0012 滝川市黄金町東1丁目16-26 (有)北英内
TEL&FAX 0125-22-1519 E-mail : 524.lc331a@gmail.com



会長スローガン
「良き仲間と奉仕の輪」
L矢口 吉春



L近藤 富貴雄 医)社団 近藤医院	L太刀川 静陽 太刀川写真館	L山本 良明 (株)山本石材
L中西 哲也 中商(美装業)	L前田 康吉 滝川市長	L矢口 吉春 (有)矢口電気
L上田 千香子 (有)北英	L出村 省三 ふじ観光(株)	L米田 弘明 金剛寺
L松本 光正 カーメイク松本	L七尾 朋彦 NANA	L中原 健一 (有)中原産業

(終身会員及び正会員)

奉仕活動のひとこま





北海道には
白い恋人があります。



北海道えりも町 豊似湖

石屋製菓株式会社 〒063-0052 札幌市西区宮の沢2条2丁目11番36号 お客様サービス室 0120-375-562